

新型コロナウイルス感染症の感染状況および 取組みについて

令和4年4月3日時点

令和4年4月

世田谷区

保健福祉政策部
世田谷保健所

は じ め に

新型コロナウイルス感染症は、令和2年1月の国内初の感染確認後、急速に感染が拡大し、社会や経済に甚大な被害をもたらし、今なお日本のみならず世界中に脅威を与え、猛威を振るい続けています。

国はこの未曾有の事態に対応するため、令和2年4月から断続的に4度にわたり緊急事態宣言を発出し、不要不急の外出や移動について自粛を要請するなど、感染拡大防止に向けた緊急対策を進めてきました。世田谷区としても区民生活や事業活動を守り抜くため、感染予防の取組みを実施してきました。

本資料は、引き続き区民の皆様感染予防の取組みに向けたご協力をいただくとともに、今後の区の対策をより効果的なものとするため、区内の感染状況やこれまでの区の取組み等についてまとめたものです。

令和2年7月に区への対応及び今後の対策の全体像を取りまとめ、その後も定期的に区内の感染状況や区の取組等を取りまとめてきました。この度は、令和4年4月3日時点での区内の感染状況等について、取りまとめています。

《これまでの区の感染状況等の取りまとめ履歴》

- ・令和2年7月時点
- ・令和2年8月28日時点
- ・令和2年10月28日時点
- ・令和2年12月23日時点
- ・令和3年1月31日時点
- ・令和3年4月18日時点
- ・令和3年7月18日時点
- ・令和3年8月22日時点
- ・令和3年10月24日時点
- ・令和4年1月23日時点

＜新型コロナウイルス感染症の感染者数集計の考え方＞

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」）12条に基づき、医師が作成した発生届に記載されている感染者の「所在地」が世田谷区である方について、区内の感染者として人数を集計しています。

集計にあたっては、HER-SYS※に登録されている感染者を集計しています。ただし、以下に該当する方は集計の対象外としています。

○クルーズ船（ダイヤモンドプリンセス号）乗客

なお、区のホームページ上で掲載している感染者数は、公表日の集計時点で区が把握した数値であり、本資料中の感染者数は、集計後の報告も含めて発生届の報告年月日で再集計したものであるため、ホームページ上と本資料中の数値に差異が生じる場合があります。また、本資料における各集計の数値は、今後の調査状況等により、後日変動、修正する場合があります。

※HER-SYSとは

厚生労働省が運営する新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムの名称。

目 次

1 区内の感染状況（令和４年４月３日現在）・・・・・・・・・・ P 1

- （１）概要（令和４年４月３日現在）
- （２）感染者の累計数
- （３）新規感染者数の推移
- （４）男女別の感染状況
- （５）年代別の感染状況
- （６）地域別の感染状況
- （７）陽性患者の入院状況
- （８）死亡者の状況
- （９）感染源の状況
- （１０）ＰＣＲ検査（従来型）数の推移
- （１１）ＰＣＲ検査（社会的検査）の実施実績
- （１２）クラスター発生状況
- （１３）社会福祉施設等での感染の発生状況
- （１４）新型コロナワクチン接種状況

2 区の感染予防の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3 1

- （１）新型コロナウイルス感染症に関する取組概要
- （２）感染急拡大を受けた区の実施状況
- （３）新型コロナウイルス感染症に関する業務フロー
- （４）新型コロナウイルス感染症自宅療養者への対策強化
- （５）新型コロナウイルス感染症対応医療機関等支援事業
- （６）新型コロナワクチン住民接種の実施状況

1 区内の感染状況（令和4年4月3日現在）

（1）概要（令和4年4月3日現在）

①新規感染者数の推移

東京都では、令和3年4月25日に3度目の緊急事態宣言が発出される状況となり、区内の感染者数は4月26日～5月2日の週に498人まで増加しました。その後6月20日に緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に移行しましたが、その後急激に感染が拡大し、7月12日に4度目の緊急事態宣言が発出され、2回の延長がなされています。その後、新規感染者数は急激に減少し、9月30日に緊急事態宣言も解除され、10月18日～24日の週には1桁にまで減少しました。令和4年1月になり新たな変異株（オミクロン株）の影響で新規感染者数が急増し、1月21日にまん延防止等重点措置が適用され、1月31日～2月6日の週には8,307人となり過去最高を更新しました。

その後、3月21日にまん延防止等重点措置が解除されましたが、依然として3千人台で推移している状況です。

②年代別の感染状況

区内の感染者は、全感染者のうち20代から50代の感染者が全体の約7割を占めています。（区民全体における同年代の人口割合は約6割）。

令和4年1月下旬から4月初旬の約2か月半の間で0～9歳の感染者は約6倍以上増加しており、こうした世代の感染をいかに防止するかが大きな課題となっています。

③陽性患者の入院状況

令和3年8月から入院患者数を年齢別でみると、デルタ株が流行した8月は40、50歳代の割合が高く、オミクロン株が流行の主体となった1月以降は70歳以上の割合が高くなっています。

④感染源の状況

令和4年4月3日までの区内の新規感染者のうち、感染源不明（調査中含む）と区分している患者は、全体の約6割となっています。感染源判明と区分している患者のうち、家庭内感染が約6割、飲食店での会食等による感染が約1割、職場内感染が約1割などとなっており、**直近の感染源の状況を見ると、家庭内での感染の割合が高くなっています。**これに伴い、子どもや高齢者も含めた全年代に感染が広がることが懸念されます。

⑤社会福祉施設等での感染の発生状況

区内の社会福祉施設等で、職員や利用者に患者が発生した事例は5,476件把握しています（令和4年4月3日現在）。前回集計時（令和4年1月23日現在）の1,410件から、この約2か月半の間で約3.88倍の件数となりました。

なお、前回から増加した件数の内訳では、区立小学校が4,482件となっており、多くの感染者が発生しました。また、保育施設等で3,299件、区立中学校で781件となっており、比較的若い世代の感染に引き続き注意が必要な状況です。

(2) 感染者の累計数

令和4年4月3日現在における感染者の累計数とその内訳（入院中、宿泊療養中、自宅療養中、退院等（療養期間経過を含む）、死亡）は以下のとおりです。

<感染者の累計数>

令和4年4月3日現在					
() 内は令和4年1月23日現在					
感染者の累計数	入院中	宿泊療養中	自宅療養中	退院等 (療養期間経過を含む)	死亡
88,611 人 (35,426 人)	578 人 (219 人)	211 人 (133 人)	5,125 人 (5,555 人)	82,497 人 (29,357 人)	200 人 (162 人)

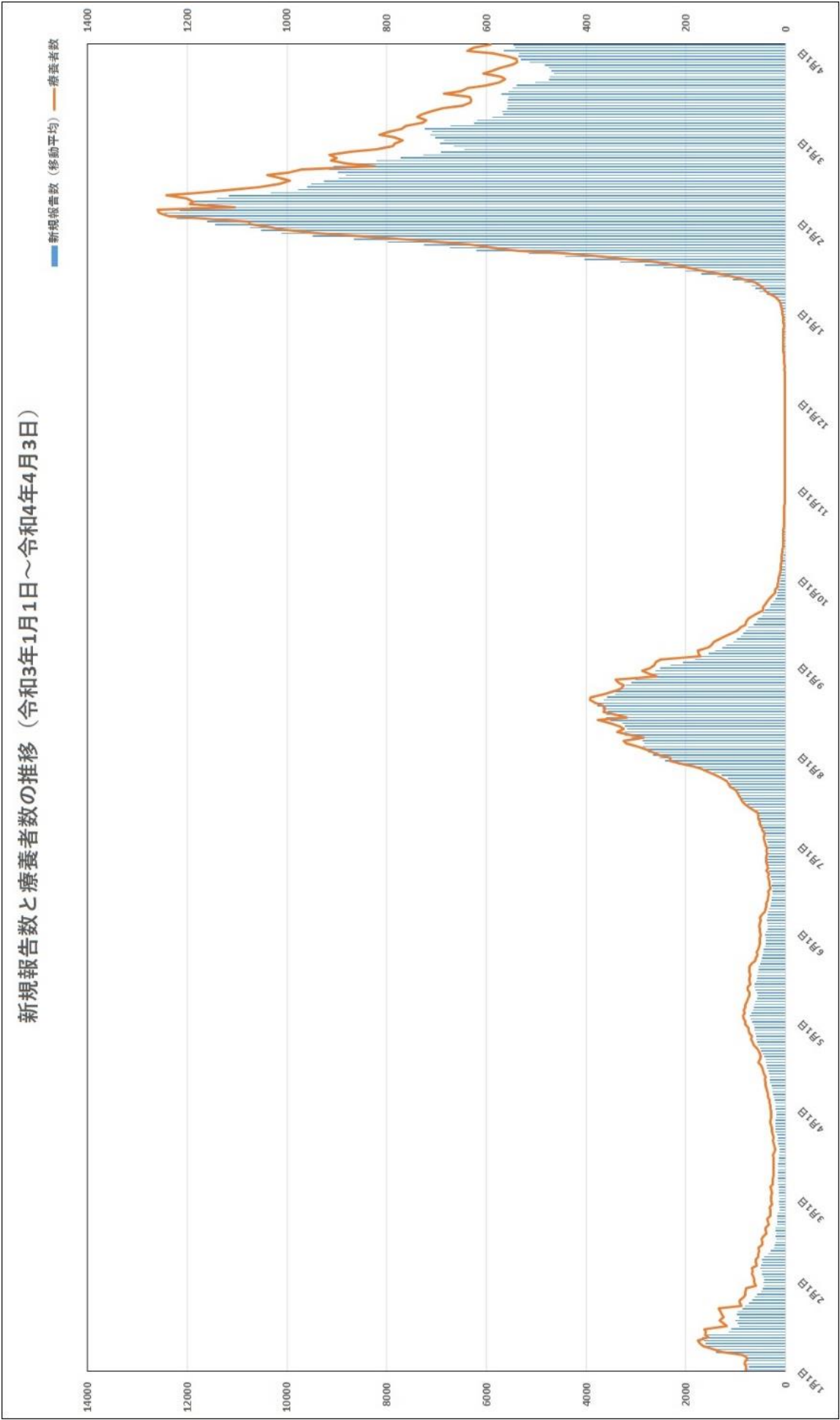
<区内の感染状況の分析>

	ステージⅢ 感染者の急増	ステージⅣ 爆発的な感染拡大	8月16日 ～22日	10月18日 ～24日	R4.1月17日 ～23日	3月28日 ～4月3日	前回との 比較
新規感染者	1週間で人口 10万人当たり <u>15人以上</u>	1週間で人口 10万人当たり <u>25人以上</u>	249.9 人	0.6 人	494.3 人	405.7 人	
療養者数 (入院者、自宅・ 宿泊療養者)	人口10万人当 たりの全療養 者数 <u>15人以上</u>	人口10万人当 たりの全療養 者数 <u>25人以上</u>	415.6 人 (8月22日時点)	3.6 人 (10月24日時点)	642.2 人 (1月23日時点)	644.7 人 (4月3日時点)	
PCR陽性率	10%	10%	32.2%	0.4%	39.4%	58.8%	
感染経路不明割合	50%	50%	53.3%	100%	70.6%	63.9%	

※PCR陽性率は、区が把握可能な検査件数を母数としており、区外の検査数の把握ができず分母に入らないため、数値が高くなる傾向にあります。また、国や都道府県、他の区市町村が算出している数値と算出方法（母数となる検査数）が異なるため、単純に比較することはできません。

※感染経路不明割合には感染経路調査中も含まれます。

＜新規報告数と療養者数の推移＞



(3) 新規感染者数の推移

区内の新規感染者数は、令和3年1月4日～10日の週に1,143人となり、東京都では1月7日に2度目の緊急事態宣言が発出されました。以降の新規感染者数は減少傾向にありましたが、4月25日に3度目の緊急事態宣言が発出される状況となり、4月26日～5月2日の週に498人まで増加しました。6月20日に緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に移行しましたが、その後急激に感染拡大し、7月12日に4度目の緊急事態宣言が発出され、2回の延長がなされています。その後、新規感染者数は急激に減少し、9月30日に緊急事態宣言も解除され、10月18日～24日の週には1桁にまで減少しました。令和4年1月になり新たな変異株（オミクロン株）の影響で新規感染者数が急増し、1月21日にまん延防止等重点措置が適用され、1月31日～2月6日の週には8,307人となり過去最高を更新しました。その後、3月21日にまん延防止等重点措置が解除されましたが、依然として3千人台で推移している状況です。

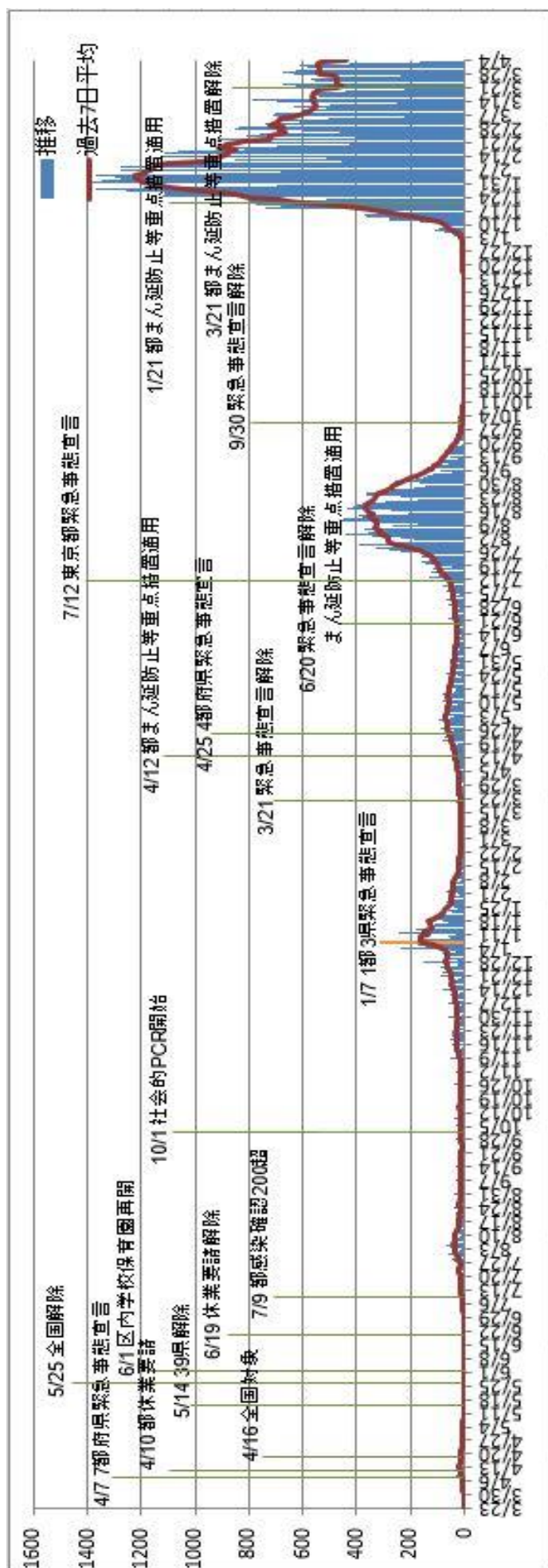
<週ごとの新規感染者数推移>

【令和4年4月3日現在】

各週	感染者数 (人)
令和2年～令和3年 1月3日	5,089
1月4日～1月10日	1,143
1月11日～1月17日	890
1月18日～1月24日	506
1月25日～1月31日	333
2月1日～2月7日	277
2月8日～2月14日	135
2月15日～2月21日	124
2月22日～2月28日	96
3月1日～3月7日	102
3月8日～3月14日	99
3月15日～3月21日	115
3月22日～3月28日	145
3月29日～4月4日	153
4月5日～4月11日	227
4月12日～4月18日	290
4月19日～4月25日	411
4月26日～5月2日	498
5月3日～5月9日	392
5月10日～5月16日	408
5月17日～5月23日	330
5月24日～5月30日	280

各週	感染者数 (人)
5月31日～6月6日	261
6月7日～6月13日	193
6月14日～6月20日	215
6月21日～6月27日	242
6月28日～7月4日	288
7月5日～7月11日	391
7月12日～7月18日	666
7月19日～7月25日	927
7月26日～8月1日	1,981
8月2日～8月8日	2,339
8月9日～8月15日	2,397
8月16日～8月22日	2,374
8月23日～8月29日	1,867
8月30日～9月5日	1,052
9月6日～9月12日	589
9月13日～9月19日	318
9月20日～9月26日	104
9月27日～10月3日	77
10月4日～10月10日	25
10月11日～10月17日	19
10月18日～10月24日	6
10月25日～10月31日	15
11月1日～11月7日	7

各週	感染者数 (人)
11月8日～11月14日	13
11月15日～11月21日	14
11月22日～11月28日	11
11月29日～12月5日	10
12月6日～12月12日	15
12月13日～12月19日	32
12月20日～12月26日	32
令和3年12月27日～ 令和4年1月2日	62
1月3日～1月9日	457
1月10日～1月16日	1,861
1月17日～1月23日	4,814
1月24日～1月30日	7,871
1月31日～2月6日	8,307
2月7日～2月13日	6,505
2月14日～2月20日	6,171
2月21日～2月27日	4,806
2月28日～3月6日	4,449
3月7日～3月13日	3,910
3月14日～3月20日	3,809
3月21日～3月27日	3,345
3月28日～4月3日	3,721
合 計	88,611



(4) 男女別の感染状況

男女別の累計感染者数は男性が女性の約 1.05 倍となっており、区民全体の男女比 47:53（男性 433,950 人、女性 483,195 人。令和 4 年 4 月 1 日時点）と比較すると、男性に感染者数が多い傾向が見られます。

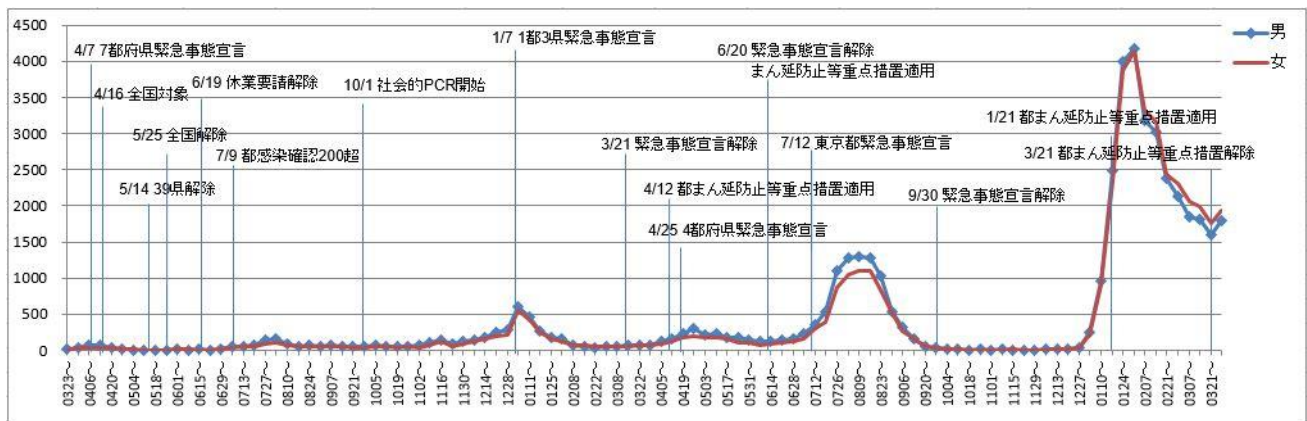
＜男女別の感染者の累計＞

【令和 4 年 4 月 3 日現在】

	男性	女性	計
累計	45,336 人	43,275 人	88,611 人
割合	51%	49%	100%

＜男女別新規感染者数の推移＞

【令和 4 年 4 月 3 日現在】



(5) 年代別の感染状況

区内の感染者は、全感染者 88,611 人のうち 20 代から 50 代の感染者が 60,491 人と、全体の約 7 割を占めています。(区民全体における同年代の人口割合は約 6 割。)

令和 4 年 1 月下旬から 4 月初旬の約 2 か月半の間に 0～9 歳の感染者は約 6 倍以上と大きく増加しており、こうした世代の感染をいかに防止するかが大きな課題となっています。

<年代別感染者数の累計（各取りまとめ時点別）>

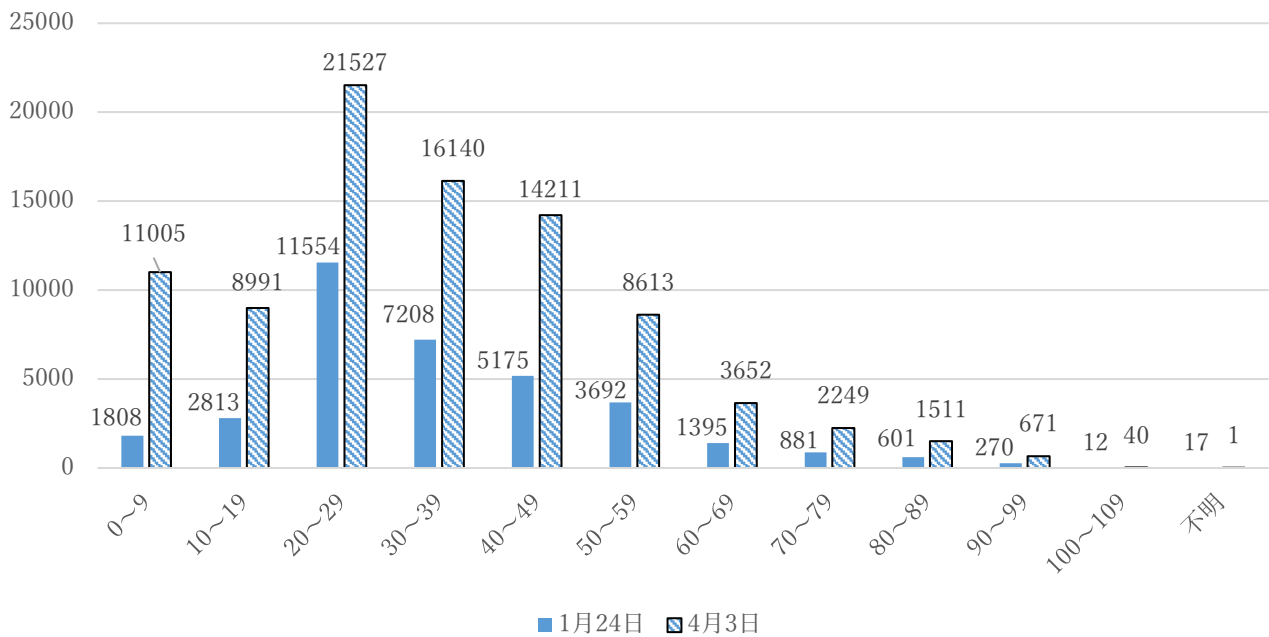
歳	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～109	不明	計
R3. 4 月 18 日	212 人	495 人	2,834 人	1,975 人	1,440 人	1,179 人	572 人	452 人	340 人	174 人	4 人	16 人	9,693 人
7 月 18 日	391 人	825 人	4,384 人	2,921 人	2,130 人	1,669 人	758 人	551 人	421 人	194 人	7 人	16 人	14,267 人
8 月 22 日	806 人	1,676 人	8,021 人	5,065 人	3,591 人	2,654 人	1,020 人	657 人	476 人	218 人	8 人	15 人	24,207 人
10 月 24 日	1,238 人	2,081 人	9,120 人	5,908 人	4,242 人	3,084 人	1,133 人	742 人	536 人	244 人	10 人	15 人	28,353 人
R4. 1 月 23 日	1,808 人	2,813 人	11,554 人	7,208 人	5,175 人	3,692 人	1,395 人	881 人	601 人	270 人	12 人	17 人	35,426 人
4 月 3 日	11,005 人	8,991 人	21,527 人	16,140 人	14,211 人	8,613 人	3,652 人	2,249 人	1,511 人	671 人	40 人	1 人	88,611 人
1 月→4 月 増加割合	6.09 倍	3.2 倍	1.86 倍	2.24 倍	2.75 倍	2.33 倍	2.62 倍	2.55 倍	2.51 倍	2.49 倍	3.33 倍	0.06 倍	2.5 倍

<年代別感染者数の各取りまとめ時点における前回からの増加人数>

歳	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～109	不明	計
4 月 18 日 → 7 月 18 日	179 人	330 人	1,550 人	946 人	690 人	490 人	186 人	99 人	81 人	20 人	3 人	0 人	4,574 人
7 月 18 日 → 8 月 22 日	415 人	851 人	3,637 人	2,144 人	1,461 人	985 人	262 人	106 人	55 人	24 人	1 人	-1 人	9,940 人
8 月 22 日 → 10 月 24 日	432 人	405 人	1,099 人	843 人	651 人	430 人	113 人	85 人	60 人	26 人	2 人	0 人	4,146 人
R3. 10 月 24 日 → R4. 1 月 23 日	570 人	732 人	2,434 人	1,300 人	933 人	608 人	262 人	139 人	65 人	26 人	2 人	2 人	7,073 人
1 月 24 日 → 4 月 3 日	9197 人	6178 人	9973 人	8932 人	9036 人	4921 人	2257 人	1368 人	910 人	401 人	28 人	-16 人	53,185 人
増加人数 の各年代 の割合	17.3 %	11.6 %	18.8 %	16.8 %	17.0 %	9.3 %	4.2 %	2.6 %	1.7 %	0.8 %	—	—	100 %

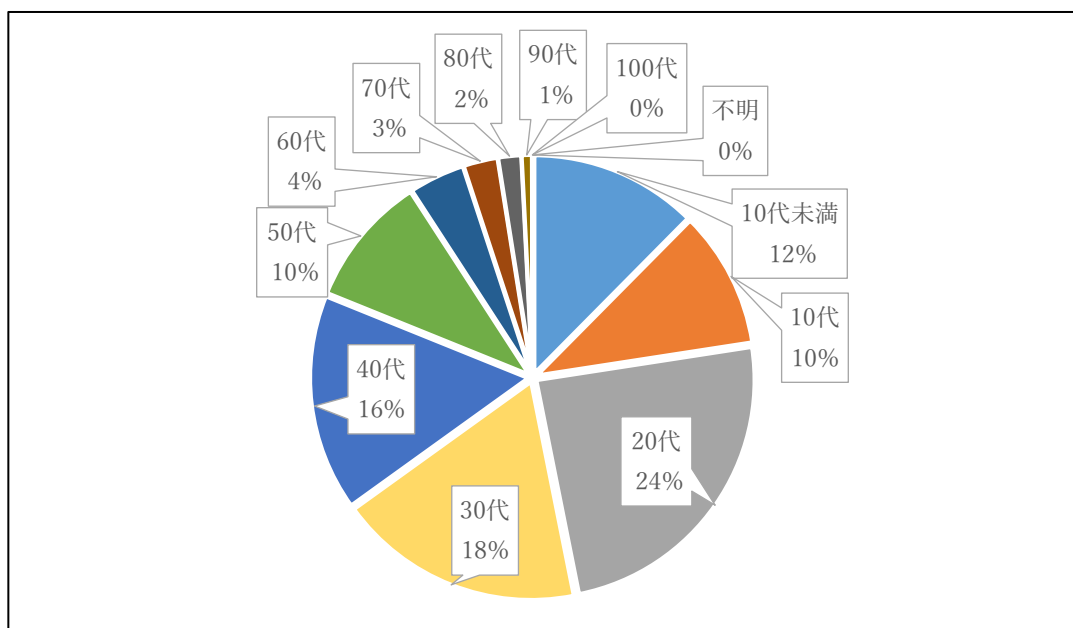
※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、個々の値の合計は必ずしも 100% とならない場合があります。

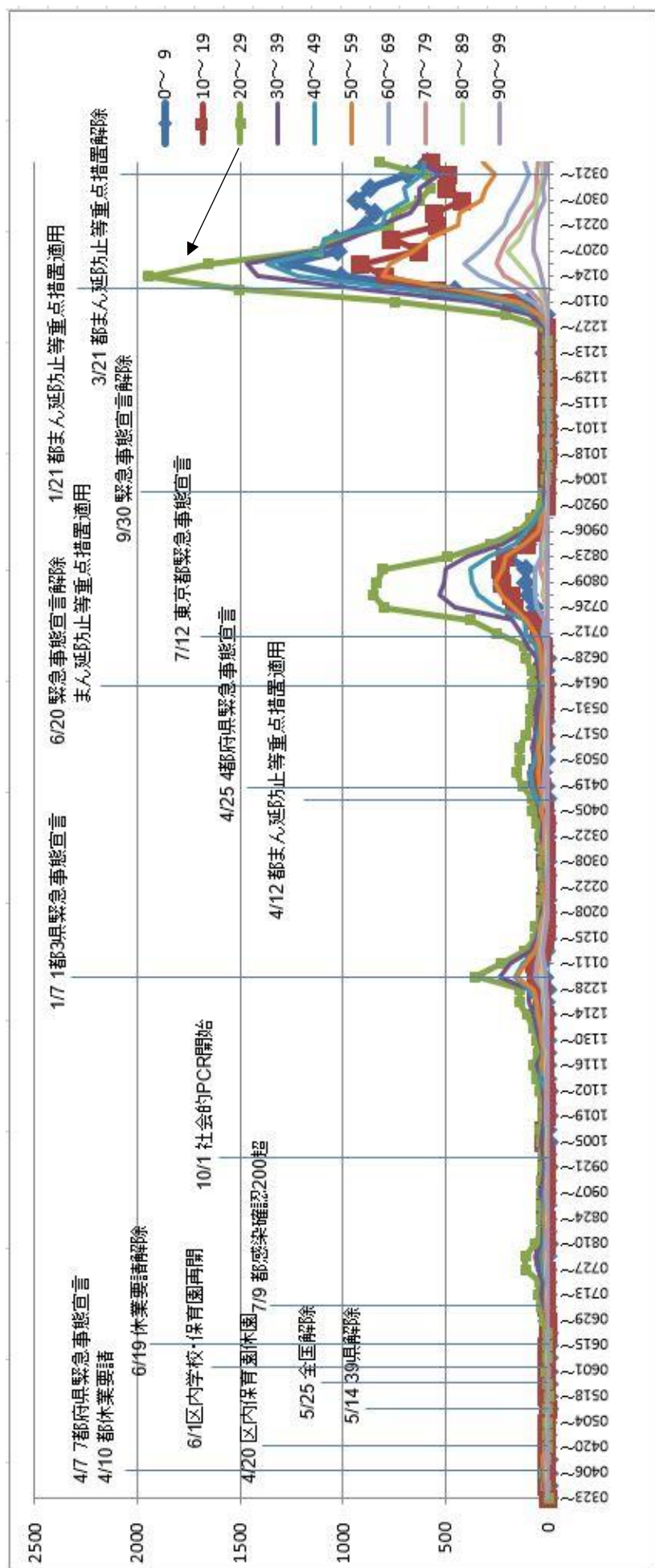
年代別感染者数（累計）のR.4年1月と4月の比較



<年代別感染者数（累計）の割合>

【令和4年4月3日現在】





(6) 地域別の感染状況

地域別の感染状況について、感染者数の累計及び人口 10 万人（令和 4 年 4 月 1 日時点）あたりの感染者数で比較を行いました。地域別の感染者数については、あくまでも感染者の居住地別に累計を算出したものであり、数値の高さがその地域でクラスターが発生していることを示すものではありません。今回は本年 1 月からの感染拡大を受けて、全地域で感染者数が増加したため人口 10 万人当たりの件数も増加しています。

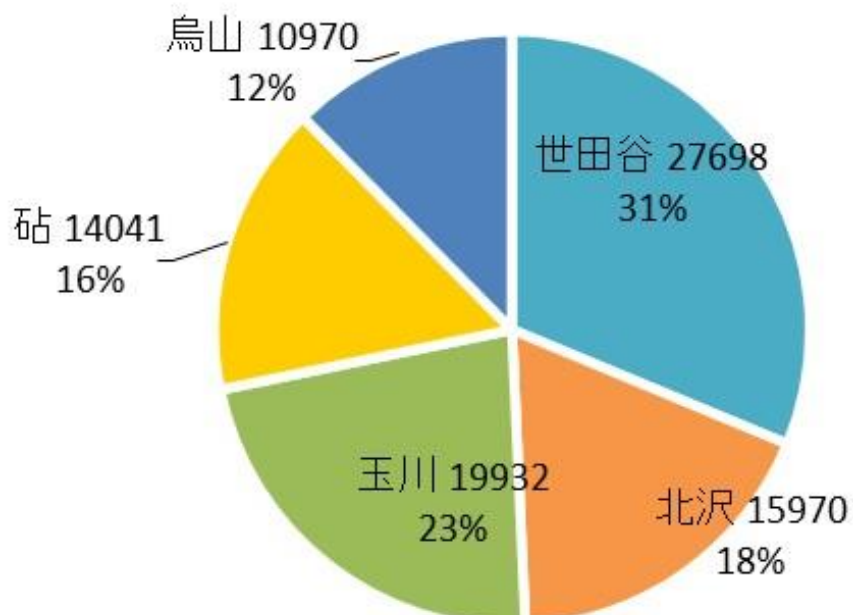
<地域別感染者累計数・人口 10 万人当たりの件数> 【令和 4 年 4 月 3 日現在】

	世田谷	北沢	玉川	砧	烏山	全体
累計数(人)	27,698	15,970	19,932	14,041	10,970	88,611
人口 10 万人あたりの数(人)	10,963.34	10,407.16	8,813.62	8533.23	9114.63	9661.61

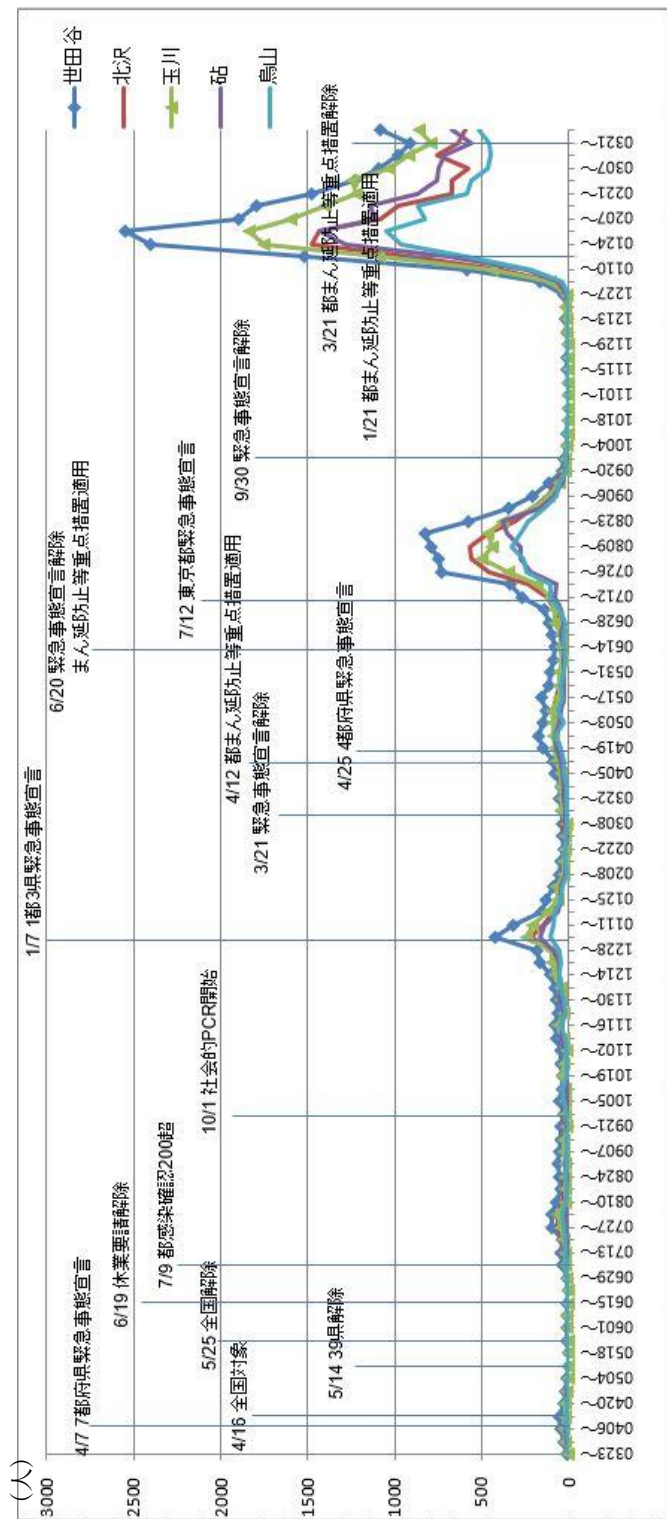
<【過去分】地域別感染者の人口 10 万人あたりの件数（人）>

	世田谷	北沢	玉川	砧	烏山	全体
R3. 4 月 18 日	1367.82	1161.96	889.77	792.28	912.74	1053.05
7 月 18 日	2048.77	1704.08	1278.55	1134.00	1378.61	1549.97
8 月 22 日	3385.12	3173.05	2122.82	1850.88	2357.43	2629.85
10 月 24 日	3913.83	3674.37	2477.14	2272.87	2796.87	3080.27
R4. 1 月 23 日	4806.96	4569.56	3199.50	2873.28	3479.27	3851.67

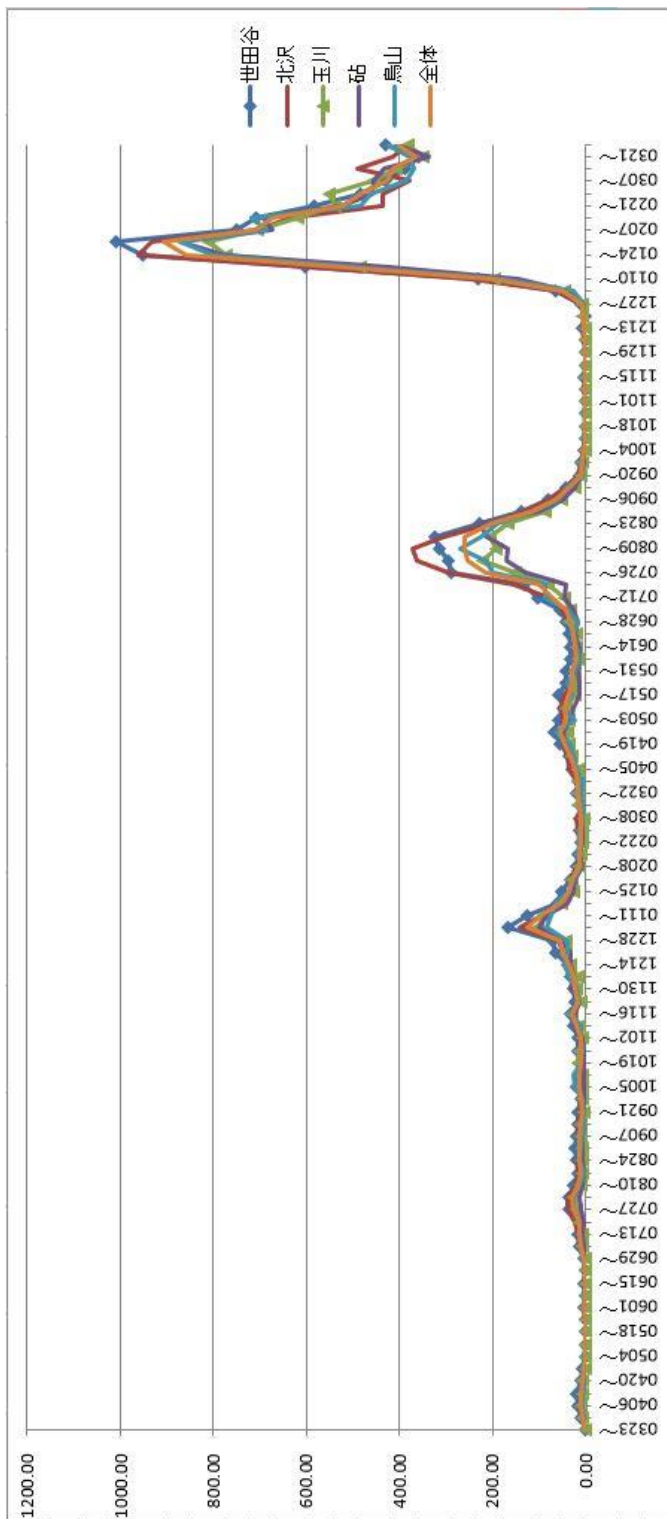
<地域別感染者累計数> 【令和 4 年 4 月 3 日現在】



<地域別新規感染者数の推移>



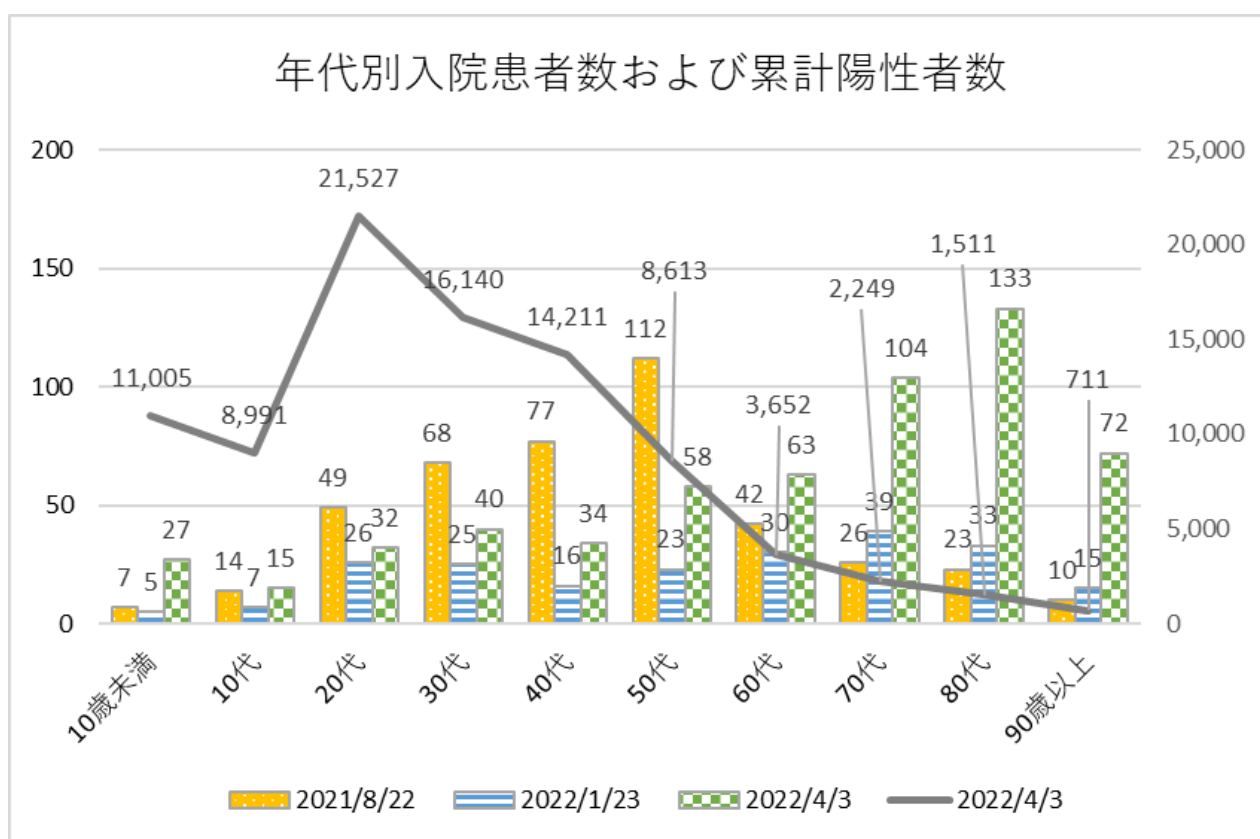
<10 万人当たりの地域別新規感染者数の推移>



(7) 陽性患者の入院状況

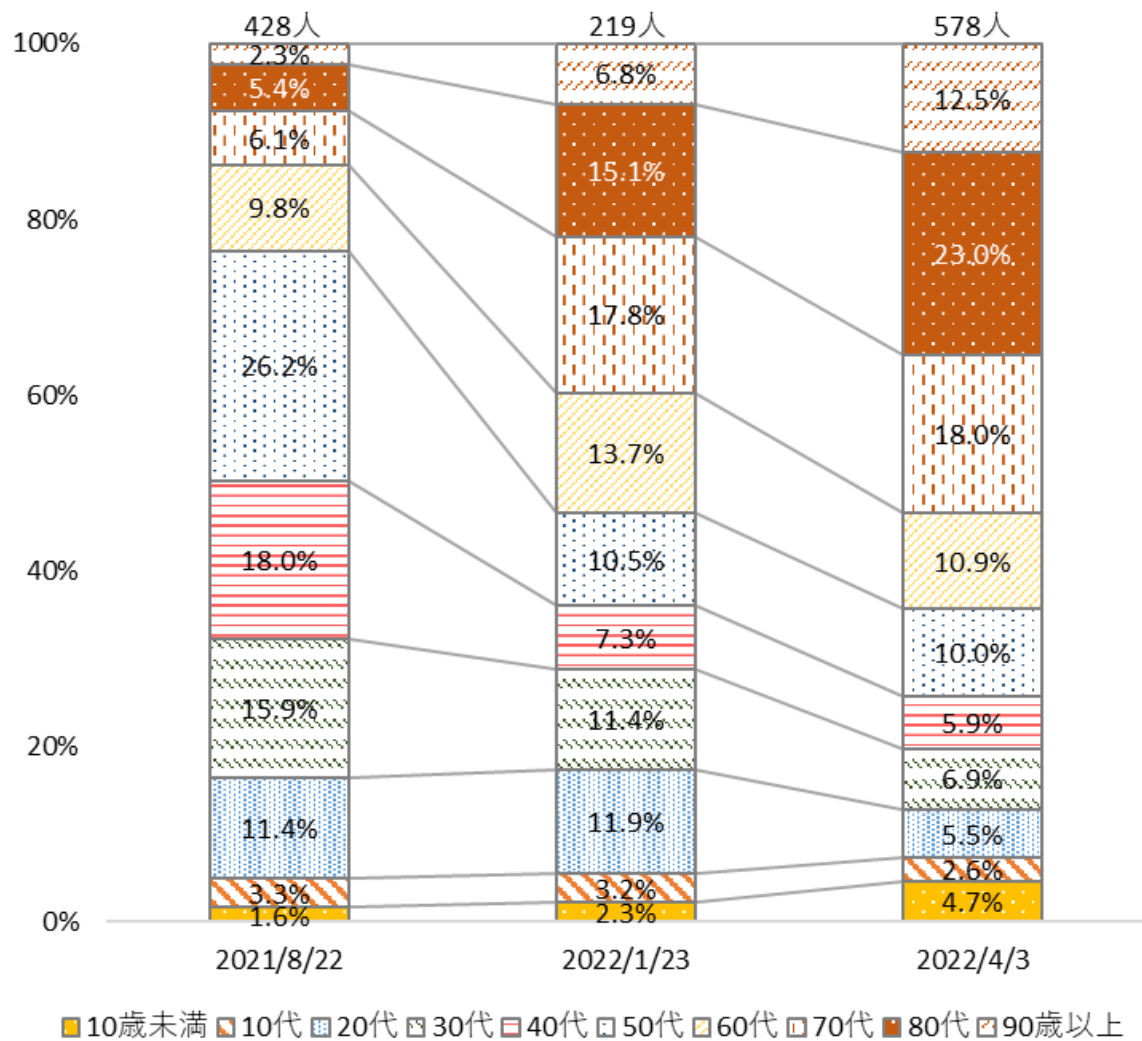
これまで新型コロナウイルス感染症に罹患した患者のうち、医療機関等からの報告により把握した重症者等の報告をしていましたが、オミクロン株流行による急速な患者数の増加、および入院する医療機関も都内広域にわたる状況となり、入院後の病状確認は困難となりました。このため、これまでの報告を入院患者数の変化および年代別割合に変えて報告いたします。

令和3年8月から入院患者数を年代別でみると、デルタ株が流行した8月は40、50歳代の割合が高く、オミクロン株が流行の主体となった1月以降は70歳以上の割合が高くなっています。



※図の数値は統計上の数値であり、実際の数値とは異なる場合があります。

年代別入院患者の割合

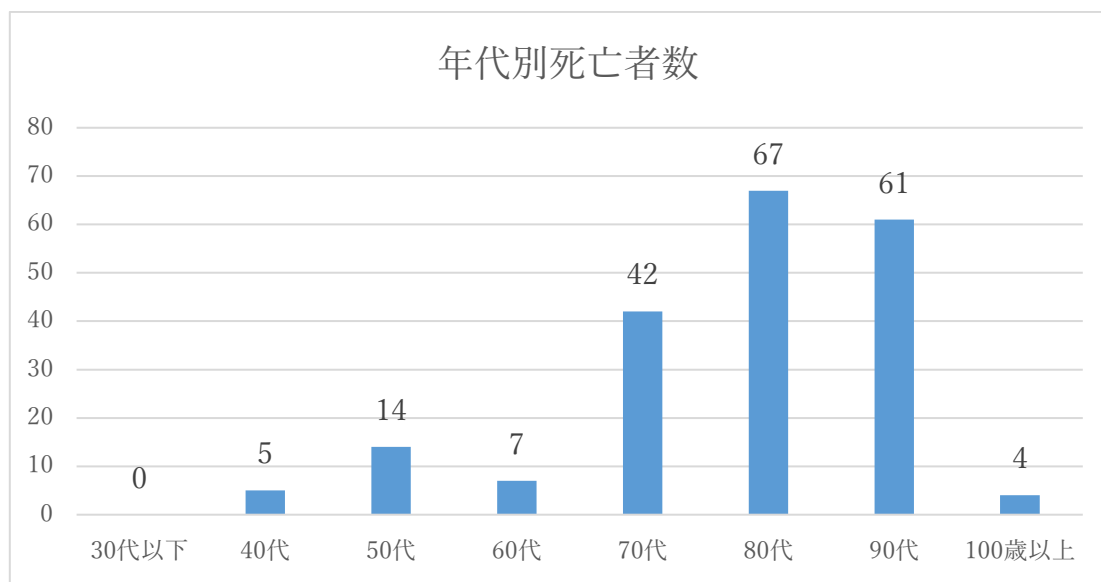


※図の数値は統計上の数値であり、実際の数値とは異なる場合があります。

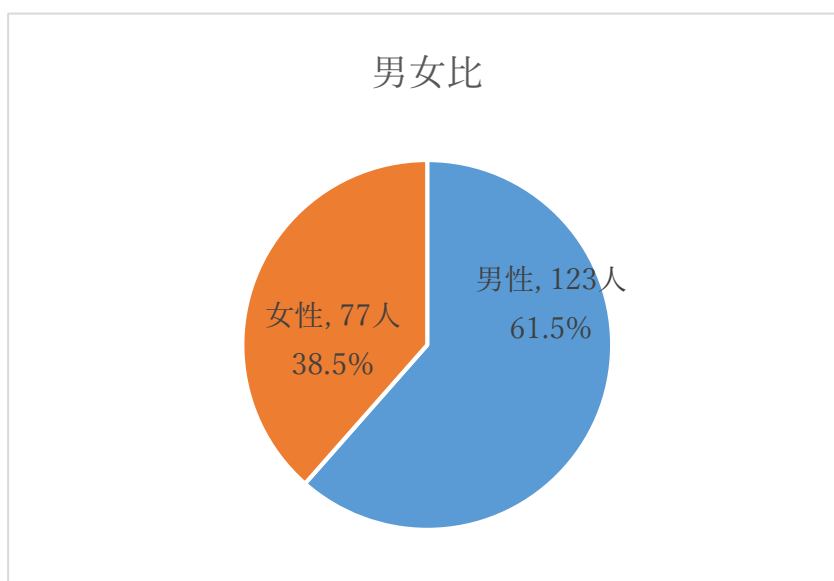
(8) 死亡者の状況

令和4年4月3日現在、病院等からの連絡により区が把握した感染者における死亡者数は200人です（区外医療機関等で診断され、入院先または療養先も区外医療機関である場合については、区保健所が関わっていないため、含まれていません）。年代別の死亡者数は、80代が67人と最も多く、90代が61人、70代が42人、60代が7人、50代が14人、40代が5人、100歳以上が4人となっており、30代未満の死亡者は出ていません。年代別の感染者数では20代から50代が多い一方、死亡者数は80代が最多となっていることから、高齢者ほどリスクが高く、より感染を防ぐ対策が必要です。また、死亡者全200人のうち、男性が123人、女性が77人であり、男性が多い傾向にあります。さらに、200人のうち174人に基礎疾患があり、全国的な傾向と同じく、基礎疾患がある人ほど死亡のリスクが高い状況となっています。

<年代別死亡者数>



<死亡者の男女比>



<年代別死亡者数の累計（各取りまとめ時点別）>

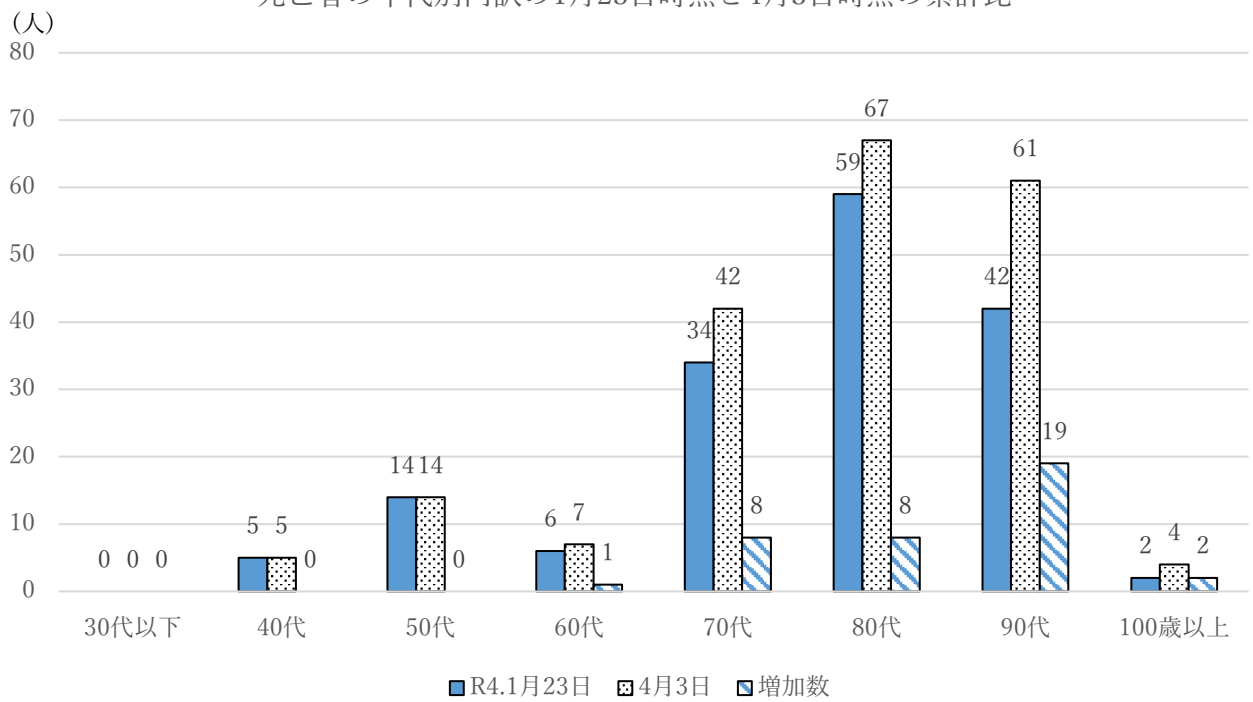
	30代 以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳 以上	計
R3. 4月18日	0 人	2 人	4 人	3 人	20 人	37 人	29 人	1 人	96 人
7月18日	0 人	3 人	4 人	4 人	25 人	45 人	33 人	1 人	115 人
8月22日	0 人	3 人	5 人	4 人	27 人	47 人	35 人	1 人	122 人
10月24日	0 人	5 人	14 人	6 人	34 人	58 人	41 人	2 人	160 人
R4. 1月23日	0 人	5 人	14 人	6 人	34 人	59 人	42 人	2 人	162 人
4月3日	0 人	5 人	14 人	7 人	42 人	67 人	61 人	4 人	200 人
各年代の 割合	—	2.5 %	7.0 %	3.5 %	21.0 %	33.5 %	30.5 %	2.0 %	100 %

※死亡情報が反映されるまで時間差があるため、実際の数値とは異なる場合がございます。

<年代別死亡者の各取りまとめ時点における前回からの増加人数>

	30代 以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳 以上	計
R3.4月18日 → 7月18日	—	1 人	0 人	1 人	5 人	8 人	4 人	0 人	19 人
7月18日 → 8月22日	—	0 人	1 人	0 人	0 人	2 人	2 人	0 人	7 人
8月22日 → 10月24日	—	2 人	9 人	2 人	7 人	11 人	6 人	1 人	38 人
R3.10月24日 → R4.1月23日	—	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	0 人	2 人
1月23日 → 4月3日	—	0 人	0 人	1 人	8 人	8 人	19 人	2 人	38 人

死亡者の年代別内訳の1月23日時点と4月3日時点の累計比



(9) 感染源の状況

令和4年4月3日までの区内の新規感染者（累計）のうち、感染源不明（調査中含む）と区分している患者は、全体の約63%となっています。

一方で、感染源判明と区分している患者について、家庭内感染が59.9%、飲食店での会食等による感染が6.3%、職場内感染が9.9%などとなっており、**直近の感染源の状況を見ると、家庭内での感染の割合が高くなっています。**これに伴い、子どもや高齢者も含めた全年代に感染が広がることが懸念されます。

男女で感染源を比較すると、男女ともに家族・同居人と職場（医療機関、飲食店、福祉施設等を除く）が高くなっています。ほかには男性は飲食店、女性は保育園・幼稚園が高くなっています。

こうした状況を踏まえ、密閉、密集、密接といった3つの密を避け、「自ら感染しない」と「他者に感染させない」ことに十分留意する必要があります。

また、家庭内や会食等での感染拡大を防止するための細やかな配慮とリスクを最大限回避する習慣を一人ひとりが実践することが大切です。

なお、感染源判明と区分している患者の感染源分類の内訳、直近の感染源の状況は、以下のとおりです。令和2年度と現在を比較しますと、主に「家庭内」「学校等（専門学校含む）」「保育園・幼稚園」が増加し、「医療機関」「飲食店」「職場（医療機関、飲食店、福祉施設等を除く）」が減少しています。

<主な感染源分類の令和2年度と令和4年4月との比較>

①増加傾向

主な感染源分類・内訳	①令和2年度 感染源の状況 構成比	②令和4年4月 感染源の状況 構成比	②－①
家族・同居人	42.2%	73.2%	31.0 ポイント
学校等（専門学校含む）	0.9%	3.8%	2.9 ポイント
保育園・幼稚園	1.0%	4.8%	3.8 ポイント

②減少傾向

主な感染源分類・内訳	①令和2年度 感染源の状況 構成比	②令和4年4月 感染源の状況 構成比	②－①
医療機関	7.5%	0.2%	△7.3 ポイント
飲食店	13.0%	5.3%	△7.7 ポイント
職場（医療機関、飲食店、福祉施設等を除く）	11.2%	4.3%	△6.9 ポイント

＜感染源分類の内訳（感染源が区内・区外問わず分類）【累計】＞

感染源判明	令和3年度 (2021年度)										令和4年度 (2022年度)					総計		
	～令和2年度 (2020年度)		1月		2月		3月		4月(3日まで)		5月		6月		7月		8月	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(感染源分類・内訳)	3,877	42.5%	1,795	45.4%	6,531	42.9%	112	40.7%	4,430	27.0%	8,424	33.4%	6,902	40.2%	418	34.7%	32,489	36.7%
①家族・同居人	1,636	42.2%	816	45.5%	3,345	51.2%	61	54.5%	2,515	56.8%	5,992	71.1%	4,784	69.3%	306	73.2%	19,455	59.9%
②友人・知人	351	9.1%	152	8.5%	455	7.0%	7	6.3%	309	7.0%	279	3.3%	205	3.0%	23	5.5%	1,781	5.5%
③医療機関	289	7.5%	27	1.5%	26	0.4%	1	0.9%	45	1.0%	119	1.4%	29	0.4%	1	0.2%	537	1.7%
④飲食店	503	13.0%	200	11.1%	639	9.8%	9	8.0%	436	9.8%	131	1.6%	121	1.8%	22	5.3%	2,061	6.3%
⑤福祉施設(高齢・障害)	272	7.0%	69	3.8%	62	0.9%	6	5.4%	52	1.2%	291	3.5%	128	1.9%	2	0.5%	882	2.7%
⑥ライブハウス・スタジオ・劇場等	100	2.6%	34	1.9%	65	1.0%	0	0.0%	11	0.2%	6	0.1%	5	0.1%	1	0.2%	222	0.7%
⑦職場(医療機関、飲食店、福祉施設等を除く)	434	11.2%	321	17.9%	1,186	18.2%	5	4.5%	425	9.6%	490	5.8%	335	4.9%	18	4.3%	3,214	9.9%
⑧カラオケ	32	0.8%	5	0.3%	8	0.1%	0	0.0%	13	0.3%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	59	0.2%
⑨商業施設(スーパー・家電量販店など)	2	0.1%	1	0.1%	9	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.1%	0	0.0%	16	0.0%
⑩保育園・幼稚園	38	1.0%	18	1.0%	178	2.7%	11	9.8%	215	4.9%	520	6.2%	661	9.6%	20	4.8%	1,661	5.1%
⑪学校等(専門学校含む)	36	0.9%	51	2.8%	118	1.8%	2	1.8%	255	5.8%	462	5.5%	522	7.6%	16	3.8%	1,462	4.5%
⑫帰国者	4	0.1%	5	0.3%	2	0.0%	6	5.4%	2	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	20	0.1%
⑬大学(体育会・寮等)	131	3.4%	81	4.5%	298	4.6%	1	0.9%	116	2.6%	111	1.3%	68	1.0%	6	1.4%	812	2.5%
⑭スポーツジム	12	0.3%	2	0.1%	16	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	3	0.0%	0	0.0%	34	0.1%
⑮旅行・出張先	6	0.2%	5	0.3%	44	0.7%	1	0.9%	11	0.2%	3	0.0%	12	0.2%	1	0.2%	83	0.3%
⑯結婚式	6	0.2%	1	0.1%	2	0.0%	0	0.0%	4	0.1%	1	0.0%	1	0.0%	1	0.2%	16	0.0%
⑰習い事	25	0.6%	7	0.4%	78	1.2%	2	1.8%	21	0.5%	18	0.2%	22	0.3%	1	0.2%	174	0.5%
感染源不明	5,240	57.5%	2,160	54.6%	8,689	57.1%	163	59.3%	11,976	73.0%	16,830	66.6%	10,277	59.8%	787	65.3%	56,122	63.3%
調査中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	9,117	100.0%	3,955	100.0%	15,220	100.0%	275	100.0%	16,406	100.0%	25,254	100.0%	17,179	100.0%	1,205	100.0%	88,611	100.0%
																	43,275	48.8%

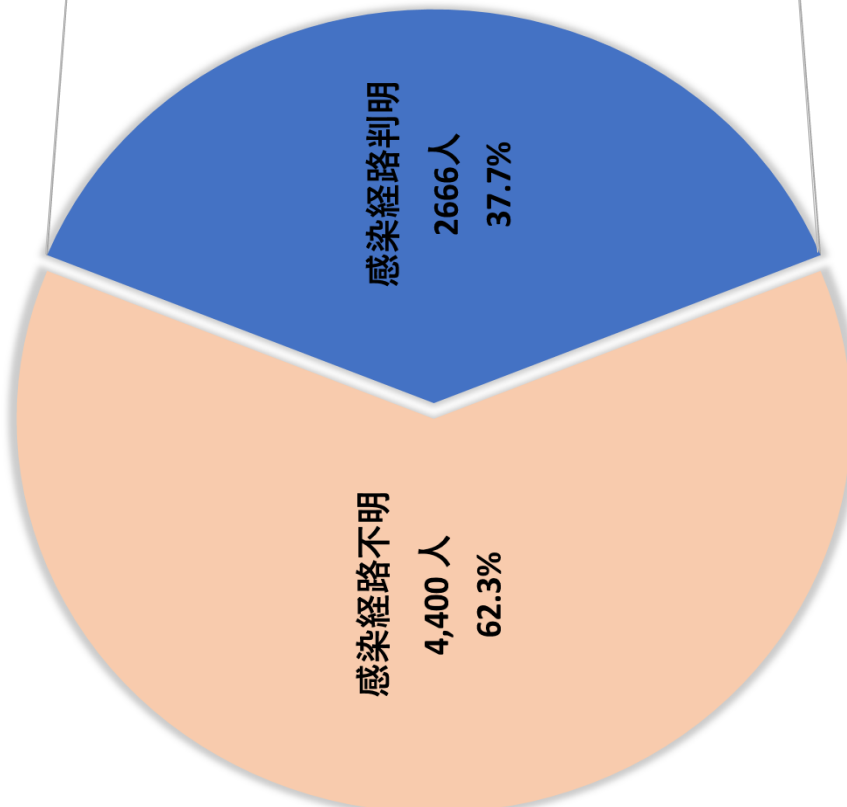
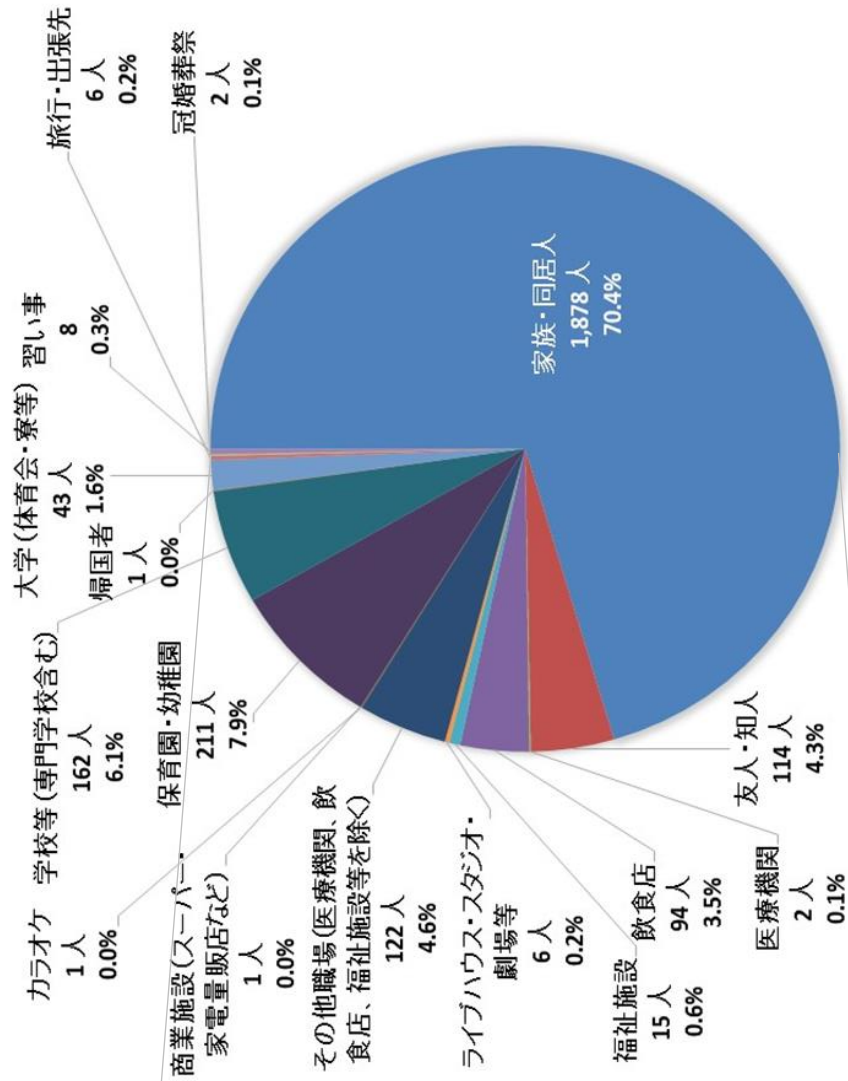
※本資料中の他の統計や区のホームページ上の数値等と集計時点及び集計期間が違いため、数値に差異が生じています。

※令和3年7月31日より積極的疫学調査について、陽性者の体調確認を優先して実施しています。

※令和4年1月8日より積極的疫学調査にトリアージを導入しています。

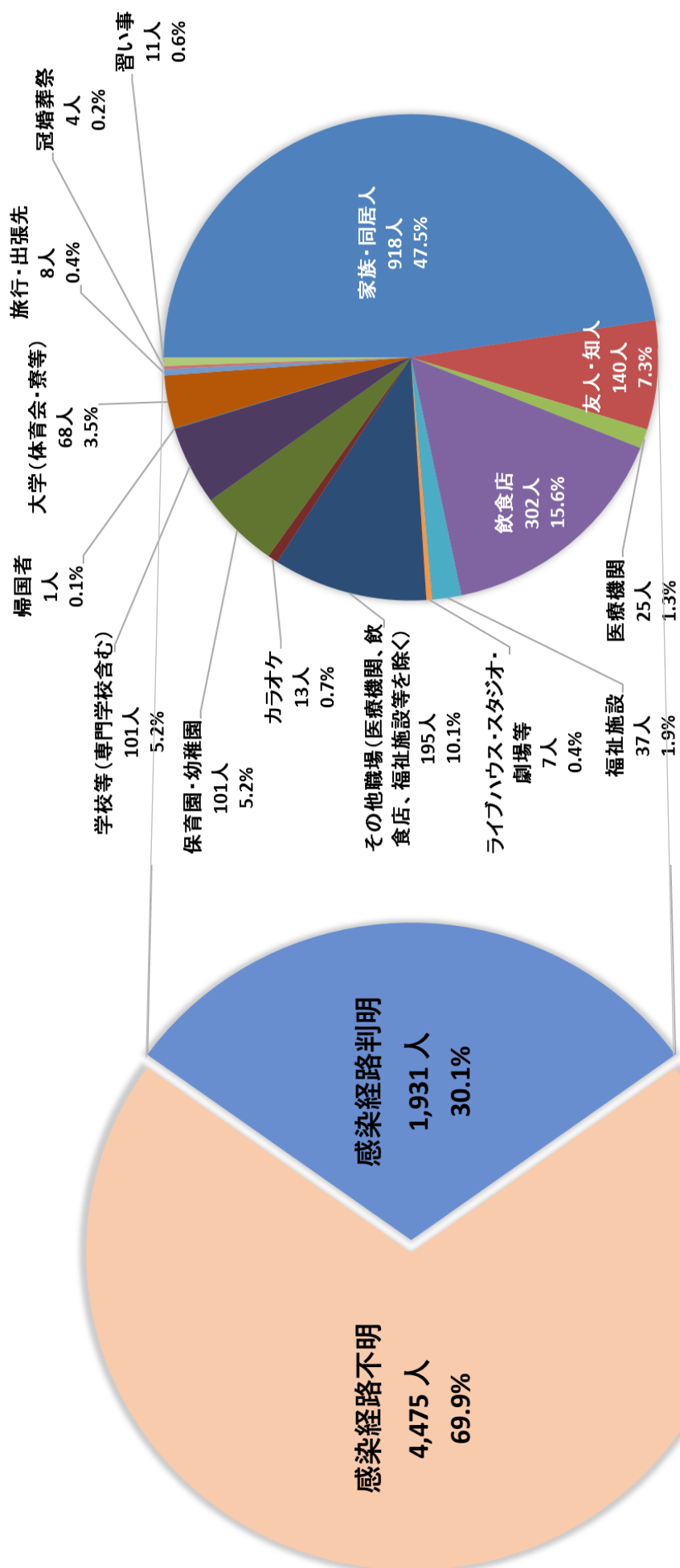
※あくまでも感染源は推定であり、感染源分類については疫学調査をもとに区が独自に分類しました。

<直近の感染源（令和4年3月21日～4月3日）>



判明した感染源別の状況（3月21日～4月3日）

【参考】 前回（令和4年1月23日時点）の感染源（1月10日～1月23日）



判明した感染源別の状況（1月10日～1月23日）

(10) P C R検査（従来型）数の推移

< P C R検査件数 >

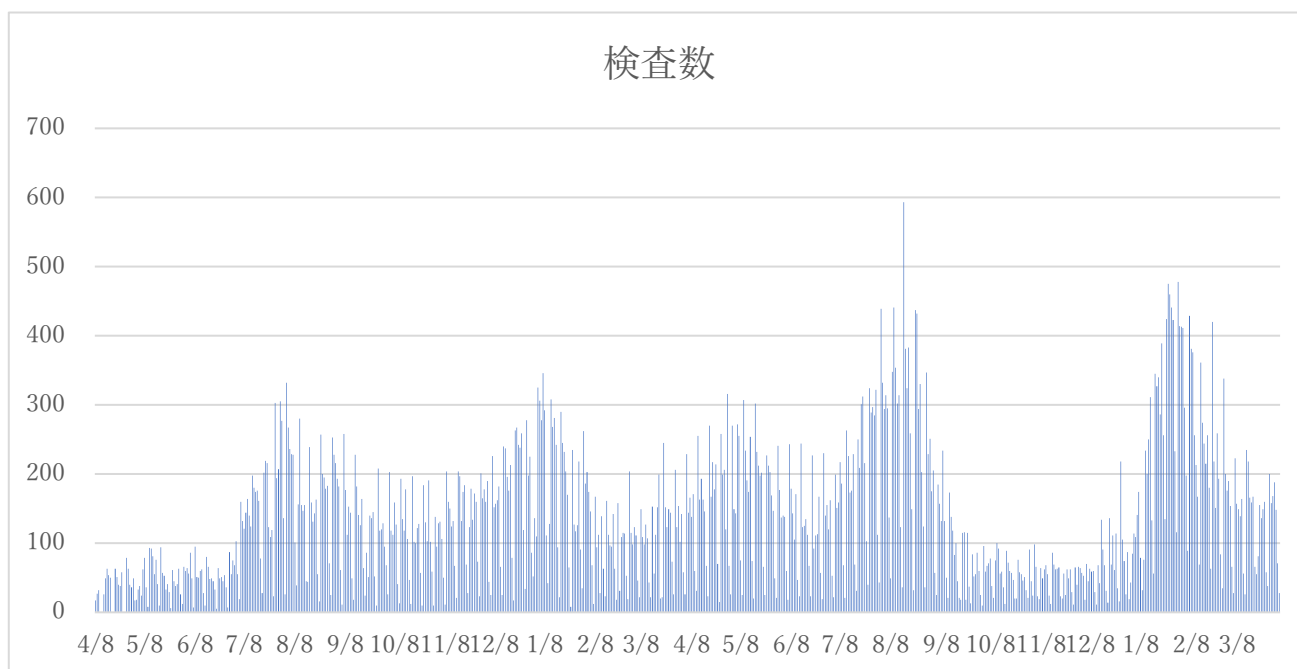
実施月	検査数	【参考】左記以外検査数（注）	
		P C R 検査	抗原検査
令和3年4月以前	45,457 件	3,895 件	2,205 件
5 月	5,042 件	4,281 件	2,399 件
6 月	3,721 件	3,513 件	2,193 件
7 月	5,585 件	5,237 件	3,052 件
8 月	8,374 件	9,027 件	4,039 件
9 月	3,011 件	4,757 件	2,566 件
10 月	1,659 件	2,762 件	1,798 件
11 月	1,487 件	2,419 件	1,523 件
12 月	2,095 件	2,924 件	1,767 件
令和4年1 月	7,184 件	12,789 件	6,988 件
2 月	7,003 件	10,212 件	7,529 件
3 月	4,097 件	8,663 件	6,735 件
4 月※3 日時点	435 件	—	—
累計※4 月3 日時点	95,150 件	70,479 件	42,794 件

※世田谷保健所（行政検査）、玉川医師会（保険適用）、世田谷区医師会（保険適用）、区内医療機関。

※（注）は医療機関支援を受けており、従来型のP C R検査に含まれていない医療機関の検査数。

※検査数は区内で検査を受けた区民の検査数であり、区外で検査を受けた区民や区内で検査を受けた区外の方の数値は含まれません。また、陰性確認検査として一人で複数回実施した検査件数を含んでいます。

< P C R検査件数の推移 >



(11) P C R検査（社会的検査）の実施実績

介護事業所等を対象としたP C R検査（社会的検査）の実施実績は次のとおりです。

<全体>

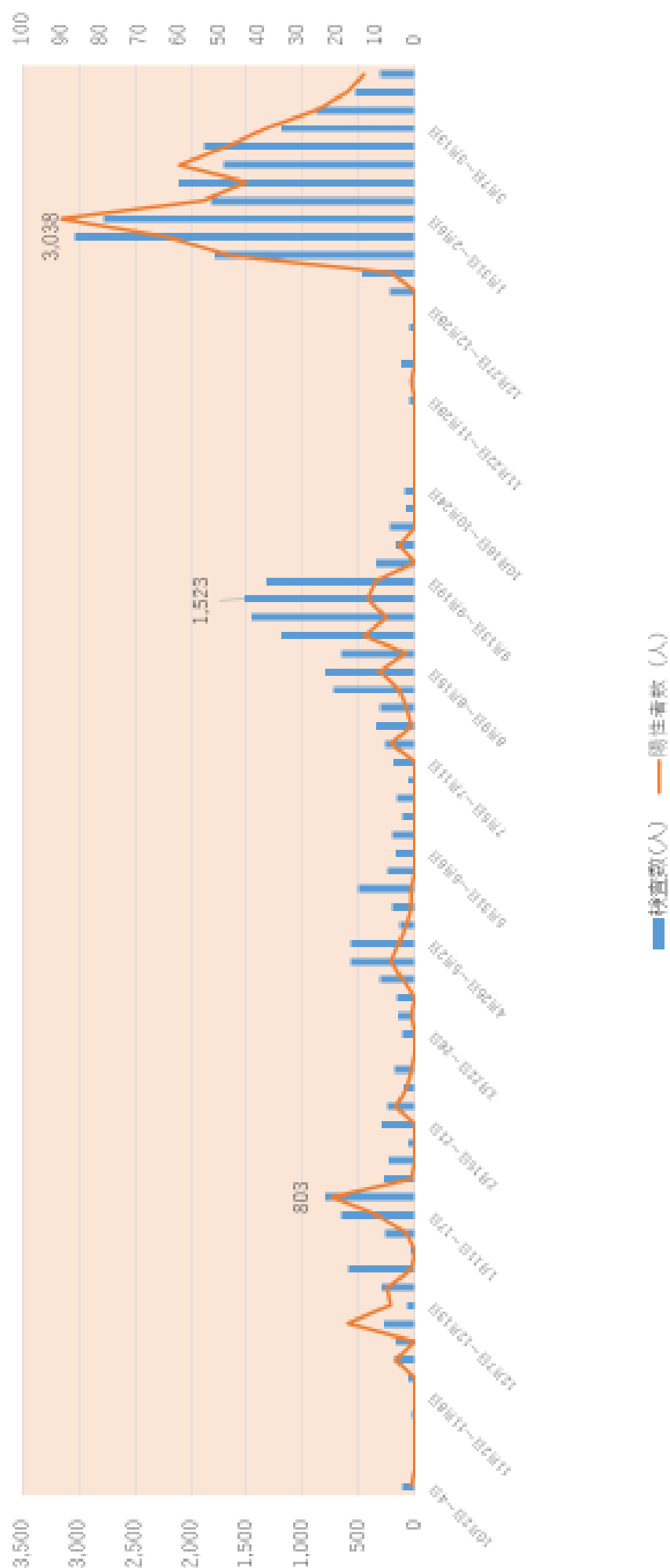
	行政検査			スクリーニング検査 【令和3年1月13日 受付開始】
	計	随時検査	定期検査	
実施施設数	1,106 施設	660 施設	446 施設	344 施設
介護事業所	524 施設	184 施設	340 施設	244 施設
障害者施設	185 施設	89 施設	96 施設	98 施設
上記以外	397 施設	387 施設	10 施設	2 施設
延べ施設数	2,381 施設	1,401 施設	980 施設	2,787 施設
介護事業所	1,101 施設	349 施設	752 施設	1,861 施設
障害者施設	357 施設	161 施設	196 施設	919 施設
上記以外	923 施設	891 施設	32 施設	7 施設
検査数	53,538 件	37,189 件	16,349 件	30,878 件
介護事業所	23,498 件	10,078 件	13,420 件	18,068 件
障害者施設	6,171 件	3,623 件	2,548 件	12,578 件
上記以外	23,869 件	23,488 件	381 件	232 件
陽性者数 （陽性率）	708 件 (1.32%)	683 件 (1.84%)	25 件 (0.15%)	
陽性把握 実施施設数	251 施設	239 施設	12 施設	
介護事業所	57 施設	46 施設	11 施設	
障害者施設	21 施設	20 施設	1 施設	
上記以外	173 施設	173 施設	0 施設	

※行政検査の実績数には保健所や医師会等で行っている従来型のP C R検査の実績数は含まれていません。

※定期検査は令和3年10月以降より停止しています。

※スクリーニング検査は令和4年1月以降より停止しています。

週ごとの検査数 合計37,189人(4月3日現在) 随時検査
 週ごとの陽性者数 合計672人(4月3日現在) 随時検査



(12) クラスター発生状況

これまで区内におけるクラスター（５人以上の患者発生があった施設）の報告をしてきましたが、令和４年３月１６日付厚生労働省からの通知に基づき、重症化リスクの高い方が入院、入所している医療機関や高齢者施設等を対象に積極的疫学調査を集中的に実施するよう変更しています。このため、今回より調査を実施し、把握した件数のみの報告といたします。https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/003/005/006/d00188162_d/fil/tokyo-to-jimurenaku.pdf

<区内のクラスター発生状況【累計】>

施設等	R3.4月18日 現在	7月18日 現在	8月22日 現在	10月24日 現在	R4.1月23日 現在※2	4月3日 現在※2
医療機関	12 件	12 件 (0)	13 件 (+1)	14 件 (+1)	17 件 (+3)	26 件 (+9)
高齢者施設	24 件	28 件 (+4)	32 件 (+4)	34 件 (+2)	37 件 (+3)	96 件 (+59)
障害者施設	—	—	—	1 件 (+1)	4 件 (+3)	19 件 (+15)
保育園	3 件	5 件 (+2)	11 件 (+6)	21 件 (+10)	37 件 (+16)	212 件 (+175)
幼稚園	1 件	1 件 (0)	2 件 (+1)	3 件 (+1)	9 件 (+6)	18 件 (+9)
小学校	—	3 件 (+3)	3 件 (0)	3 件 (0)	44 件 (+41)	105 件 (+61)
中学校	5 件	7 件 (+2)	8 件 (+1)	9 件 (+1)	18 件 (+9)	47 件 (+29)
計	45 件	56 件 (+11)	69 件 (+13)	85 件 (+16)	166 件 (+81)	523 件 (+357)

※1 カッコ内は前回集計からの増加数を表しています。

※2 今般の感染拡大により、現時点では保健所による正確なクラスター発生数の把握が困難なため、施設所管課が一定の期間に同一施設で感染者が５人以上発生した件数を速報値として記載しております。また、各期間での発生件数を順に足し合わせ、累計として記載しております。

これまでの保健所の集計方法とは異なり施設毎に集計方法や集計数に差があるため、あくまでも参考値であり、今後数値が大幅に変更になる可能性があります。

(13) 社会福祉施設等での感染の発生状況

区内の社会福祉施設等で、職員や利用者に患者が発生した事例は5,476件把握しています(令和4年4月3日現在)。前回集計時(令和4年1月23日現在)の1,410件から、この約2か月半の間で約3.88倍の件数となりました。

なお、前回から増加した件数の内訳では、区立小学校が4,482件となっており、多くの感染者が発生しました。また、保育施設等で3,299件、区立中学校で781件となっており、比較的若い世代の感染に注意が必要な状況です。

<社会福祉施設等での感染の発生状況【累計】>

施設等		R3.4月18日 現在	7月18日 現在	8月22日 現在	10月24日 現在	R4.1月23日 現在	4月3日 現在
高齢者 サー ビス	通所介護	44件	52件	57件	60件	67件	125件
	地域密着型通所介護	29件	37件	40件	42件	47件	85件
	短期入所生活介護	6件	7件	8件	9件	11件	16件
	認知症対応型共同生活介護	8件	11件	16件	19件	21件	37件
	有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)	20件	30件	37件	46件	57件	106件
	訪問介護	30件	37件	41件	46件	52件	100件
	訪問リハビリテーション	1件	2件	2件	3件	3件	5件
	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)	18件	21件	27件	32件	38件	61件
	訪問看護	5件	6件	8件	10件	14件	42件
	総合事業	1件	1件	1件	1件	1件	1件
	介護老人保健施設	5件	6件	9件	9件	11件	18件
	居宅介護支援	4件	5件	5件	7件	8件	12件
	通所リハビリテーション	6件	6件	6件	7件	9件	16件
	看護小規模多機能型居宅介護	1件	2件	3件	3件	3件	5件
	認知症対応型通所介護	2件	2件	2件	2件	2件	11件
	都市型軽費老人ホーム	1件	1件	1件	1件	1件	4件
	地域密着型特別養護老人ホーム (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)	1件	1件	1件	1件	1件	1件
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1件	1件	2件	2件	3件	4件
	訪問入浴介護	1件	1件	2件	2件	4件	6件
	介護予防支援	1件	1件	1件	1件	1件	13件
	小規模多機能型居宅介護	—	2件	2件	2件	3件	7件

サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設入居者生活介護含む)	—	2 件	2 件	2 件	3 件	16 件
住宅型有料老人ホーム	—	1 件	2 件	3 件	5 件	18 件
福祉用具貸付	—	—	—	—	—	1 件
養護老人ホーム	—	—	—	—	—	1 件
計	185 件	235 件 (+50)	275 件 (+40)	310 件 (+35)	365 件 (+55)	711 件 (+346)

※カッコ内は前回集計からの増加数を表しています。

施設等		R3.4月18日 現在	7月18日 現在	8月22日 現在	10月24日 現在	R4.1月23日 現在	4月3日 現在
障害者サービス	障害児通所施設	8 件	14 件	25 件	29 件	37 件	122 件
	障害者通所施設	16 件	21 件	43 件	50 件	65 件	134 件
	障害者入所施設	2 件	3 件	3 件	4 件	5 件	7 件
	居宅介護事業所	7 件	8 件	10 件	13 件	15 件	38 件
	相談支援事業所	2 件	2 件	2 件	4 件	4 件	10 件
	障害者グループホーム	5 件	7 件	9 件	11 件	15 件	30 件
	短期入所施設	—	—	—	—	—	3 件
	計	40 件	55 件 (+15)	92 件 (+37)	111 件 (+19)	141 件 (+30)	344 件 (+203)
保育施設等	企業主導型保育施設	1 件	1 件	3 件	6 件	10 件	132 件
	私立認可保育園	83 件	127 件	237 件	310 件	512 件	2177 件
	区立認可保育園	24 件	32 件	55 件	82 件	133 件	1168 件
	認証保育所	9 件	11 件	15 件	27 件	36 件	238 件
	認可外保育施設	14 件	19 件	37 件	51 件	75 件	248 件
	私立認定こども園	6 件	12 件	19 件	21 件	22 件	111 件
	病児・病後児保育事業	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	7 件
	一時預かり施設	1 件	1 件	3 件	3 件	3 件	8 件
	地域子育て支援拠点	1 件	1 件	2 件	4 件	6 件	7 件
	計	139 件	204 件 (+65)	371 件 (+167)	504 件 (+133)	797 件 (+293)	4096 件 (+3299)
幼稚園	私立幼稚園	14 件	36 件	38 件	48 件	81 件	256 件
	区立幼稚園	1 件	1 件	2 件	12 件	26 件	69 件
	計	15 件	37 件 (+22)	40 件 (+3)	60 件 (+20)	107 件 (+47)	325 件 (+218)
計		379 件	531 件 (+152)	778 件 (+247)	985 件 (+207)	1410 件 (+425)	5476 件 (+4066)

※カッコ内は前回集計からの増加数を表しています。

＜社会福祉施設等での感染発生状況【1か月当たりの増加件数】＞

施設等	R3.4月18日 → 7月18日	7月18日 → 8月22日	8月22日 → 9月19日	9月19日 → 10月24日	R3.10月24日 → R4.1月23日	1月23日 → 4月3日
高齢者サービス	約16.7件	40件	27件	8件	約18.3件	約138.4件
障害者サービス	約5.0件	37件	19件	0件	約10.0件	約81.2件
保育施設等	約21.7件	167件	123件	10件	約97.7件	約1,319.6件
幼稚園	約7.3件	3件	18件	2件	約15.7件	約87.2件

【参考①-i】区立小中学校での感染の発生状況【累計】

施設等	R3.4月18日 現在	7月18日 現在	8月22日 現在	10月24日 現在	R4.1月23日 現在	4月3日 現在
区立小学校	141件	236件 (+95)	373件 (+137)	607件 (+234)	1150件 (+543)	5632件 (+4482)
区立中学校	54件	80件 (+26)	142件 (+62)	220件 (+78)	366件 (+146)	1147件 (+781)

※カッコ内は前回集計からの増加数を表しています。

【参考①-ii】区立小中学校での感染の発生状況【1か月当たりの増加件数】

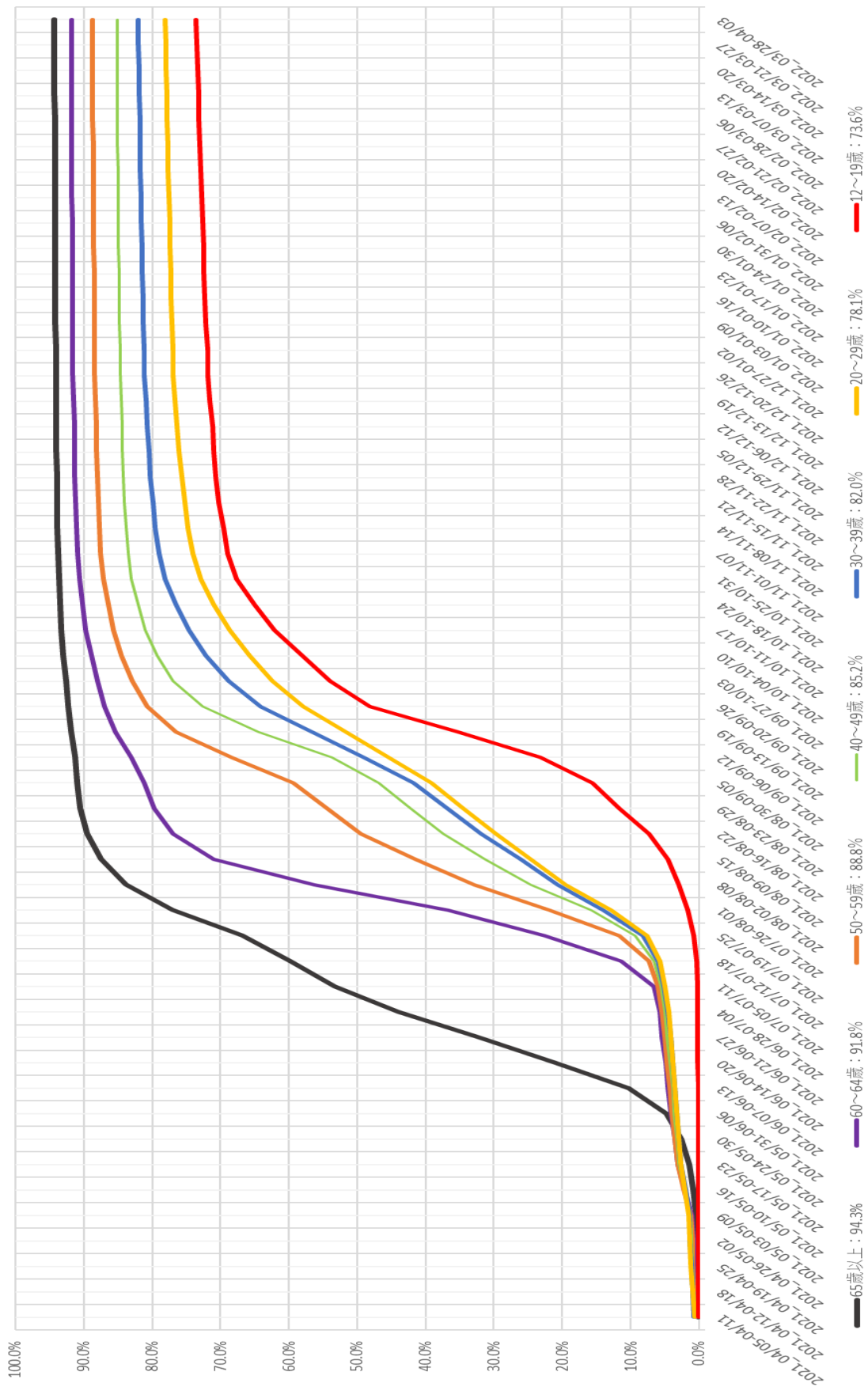
施設等	R3.4月18日 → 7月18日	7月18日 → 8月22日	8月22日 → 9月19日	9月19日 → 10月24日	R3.10月24日 → R4.1月23日	1月23日 → 4月3日
区立小学校	約31.7件	137件	226件	8件	181件	約1,792.8件
区立中学校	約8.7件	62件	77件	1件	約48.7件	約312.4件

【参考②】高齢者施設での月別陽性者（令和3年10月～令和4年4月）

月	職員 陽性者数	利用者 陽性者数	陽性者数	クラスター 発生数
R3.10月	2人	2人	4人	0件
11月	1人	0人	1人	0件
12月	3人	3人	6人	0件
R4.1月	133人	94人	227人	15件
2月	352人	509人	861人	40件
3月	112人	151人	263人	7件
4月（3日まで）	1人	2人	3人	0件
合計	604人	761人	1365人	62件

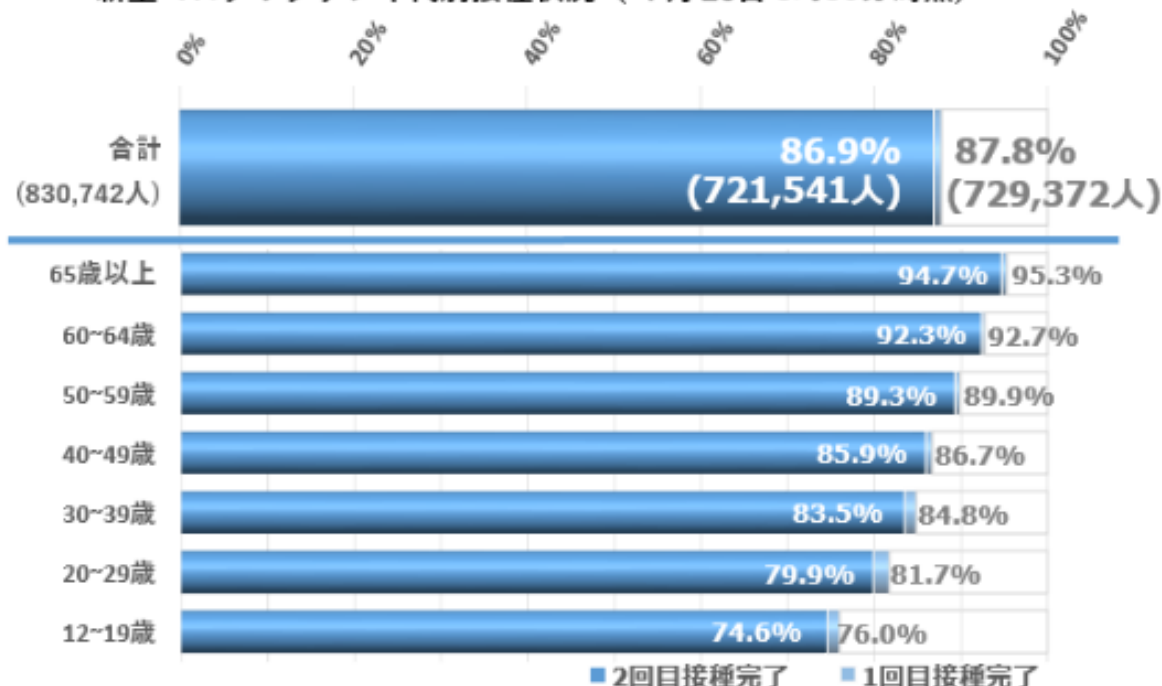
(14) 新型コロナワクチン接種状況

年代別ワクチン接種率(2回目接種済) 4月3日時点



新型コロナワクチン1・2回目接種状況(毎週水曜日更新)

新型コロナワクチン年代別接種状況（4月20日 8時30分時点）



新型コロナワクチン年代別接種状況(4月20日8時30分時点)

対象	対象人口 (人)	1回目接種済 み数(人)	1回目接種 済み割合	2回目接種済 み数(人)	2回目接種 済み割合
65歳以上	186,399	177,599	95.3%	176,533	94.7%
60歳～64歳	48,751	45,215	92.7%	45,014	92.3%
50歳～59歳	139,811	125,639	89.9%	124,911	89.3%
40歳～49歳	153,920	133,456	86.7%	132,267	85.9%
30歳～39歳	129,465	109,836	84.8%	108,119	83.5%
20歳～29歳	115,677	94,535	81.7%	92,403	79.9%
12歳～19歳	56,719	43,092	76.0%	42,294	74.6%
(1)合計	830,742	729,372	87.8%	721,541	86.9%
(2)個別接種(VR S未登録分)	—	1,911	—	765	—
(1)と(2)の合計	—	731,283	88.0%	722,306	86.9%

- 年代別の数値は、国のワクチン接種記録システム(VRS:VaccineRecordSystem)の集計です。
- 水曜日が祝日の場合は、翌営業日に更新します。
- 1・2回目接種済み数はVRSの数値(令和4年3月末時点の年齢で集計)。VRSで2回目接種のみ登録されている場合は、同数を1回目接種に計上しています。
- 各項目の割合は、対象者数に占める割合です。
- 職域接種や個別接種は、VRSの接種実績の反映には時間がかかります。
- 令和4年1月5日から対象者人口を令和3年12月1日時点に更新しています。

新型コロナワクチン3回目の接種状況

3回目の接種状況(毎週水曜日更新)

新型コロナワクチン年代別接種状況(4月20日8時30分時点)			
対象	対象人口(人)	3回目接種済み数(人)	3回目接種済み割合
65歳以上	186,399	142,166	76.3%
60歳～64歳	48,751	32,872	67.4%
50歳～59歳	139,811	78,415	56.1%
40歳～49歳	153,920	65,565	42.6%
30歳～39歳	129,465	44,502	34.4%
20歳～29歳	115,677	33,790	29.2%
12歳～19歳	56,719	4,756	8.4%
(1)合計	830,742	402,066	48.4%
(2)個別接種(VRS未登録分)	—	53,237	—
(1)と(2)の合計	—	455,303	54.8%

※3月15日から東京都が公表を開始した3回目接種の接種率には、区内医療機関で実施した個別接種の実績(上記参照)が含まれていないため、実際の接種率よりも低く表示されています。

- 年代別の数値は、国のワクチン接種記録システム(VRS:VaccineRecordSystem)の集計です。
- 水曜日が祝日の場合は、翌営業日に更新します。

(補足)

- 個別接種は、VRSの接種実績の反映に時間がかかります。世田谷区では、接種時点から平均1か月程度経過後にVRSに反映しています。

2 区の感染予防の取組み

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する取組概要

分類		項目	内容
相談	電話	新型コロナウイルス相談窓口	症状はないが、新型コロナウイルス感染症に関する相談対応を実施（外部委託）
		発熱相談センター	発熱や全身のだるさ等の症状がある方の相談対応を実施（外部委託）
		後遺症相談窓口	療養期間終了後も何らかの症状が残っている方の相談対応を実施（外部委託）
検査	PCR 検査	従来型検査（行政検査）	感染拡大時は検査時間を延長して検査を実施（外部委託）
		社会的検査（行政検査）	区内介護事業所等の社会福祉施設を対象に早期に感染者を発見し、重症化防止やクラスター発生の抑止を目的とした検査を実施 ・医師の診断が伴う検査で無症状者を対象 ・定期検査と随時検査の2種類 ※現在定期検査は停止中
		社会的検査（スクリーニング検査）	区内介護事業所、障害者施設、児童養護施設等を対象に早期に感染者を発見し、重症化防止やクラスター発生の抑止を目的とした検査を実施 ・医師の診断が伴わない検査で無症状者を対象 ・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機関による診療・診断が必要 ※現在スクリーニング検査は停止中
	抗原定性検査	随時検査の補完	区内介護事業所等を対象に一定以上のウイルス量を有する方を早期に発見することでクラスター発生抑止、重症化防止を図ることを目的として実施 ・医師の診断が伴わない検査で無症状者および軽い倦怠感やのどの痛みなど、体調が気になる場合が対象 ・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機関による診療・診断が必要
		行事前検査	速やかな検査が可能な抗原定性検査を活用し、小中学校において校外学習や部活動の大会等の行事実施前に検査することで、感染拡大防止を図る

			・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、 随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機 関による診療・診断が必要	
	PCR 等検査 無料化事業	東京都 PCR 等検査無料 化事業に関する民間事 業者との連携	川崎重工業株式会社と連携し、東京都が実施してい る PCR 等検査無料化事業に基づき、新型コロナウイ ルス感染症の感染不安を感じる都民に対し、無料で PCR 等検査を実施	
保健所体制強化		庁内応援体制	全庁応援を実施（データ入力、積極的疫学調査等）	
		委託の活用	人員増にて対応（データ入力、積極的疫学調査等）	
		大学との連携	大学の教員による業務支援	
療養 支援	自宅 (P35 を参 照)	健康観察	在宅患者	全ての療養者へ保健所から療養案内を記載したショ ートメッセージを送信
		パルスオキシメーター 配布		希望する自宅療養者に対して配布できるよう、4 月 3 日時点で 9,160 台を確保
		酸素濃縮 装置	東京都	契約及び協定により、500 台を確保
			世田谷区	契約及び協定により、約 10 台を確保
		体調悪化 時の対応	医師会	電話オンライン診療や往診等の体制を構築
			訪問看護 ステーシ ョン	訪問看護業務委託を東京都で導入し、区における往 診体制でも活用した
			外部委託	架電と受電の機能を切り分けて委託を実施
	食料配送	委託	すべての療養者に 3 日分の飲料水等を配布できるよ う外部委託を実施	
	宿泊施設	東京都		<省略>
	酸素療養	酸素療養ステーション (P37 を参照)		世田谷区民を対象として 1 月 11 日より開設し、 4 月 3 日時点で 5 0 名を受け入れた
入院	病床の確保	医療機関支援 (P38 を参照)	医療機関の受け入れ体制を強化及び地域医療体制の 確保のため、新型コロナウイルス感染症に対応する 医療機関を支援する	
治療	軽症	中和抗体薬（抗体カク テル等）		都による患者移送・患者からのコールセンターを設 置し、入院・外来等で投与できる体制を構築
		経口治療薬		国の登録センターに登録済みの医療機関や薬局を通 じた薬の提供体制
研究		Ct 値		令和 3 年 5 月 26 日福祉保健常任委員会報告済み
その他		後遺症		令和 3 年 9 月 2 日福祉保健常任委員会報告済み 令和 3 年 11 月 17 日福祉保健常任委員会報告済み 令和 4 年 2 月 1 日福祉保健常任委員会報告済み 令和 4 年 3 月 25 日議会情報提供済み
ワクチン（P41 を参照）				

(2) 感染急拡大を受けた区の取り組み状況

No	項 目	内 容
1	地区医師会との連携による取り組み	■ 診断から保健所の連絡までの間の健康観察の実施 ■ H E R - S Y S による発生届提出の勧奨 ■ 療養開始以降の健康観察の実施 ■ 自宅療養者への往診・電話・オンライン診療の実施
2	積極的疫学調査委託及びデータ入力等委託	■ 感染急拡大を受けて事務職・看護師の配置増 (12月から3月にかけて、看護師延3964名、事務延3,847名配置) ■ 1月26日より往診等調整窓口を設置
3	自宅療養者健康観察センター	■ 全ての療養者へのSMS配信(運用変更) ■ 有症状患者のリストを区・事業者でモニタリングし、症状に応じて機動的に架電し、健康状態を的確に把握
4	自宅療養者相談センター	■ 現行20回線で運用し、自宅療養者から保健所にかかる電話回線の負荷軽減を図った ■ 保健所からの連絡(SMS送信等)から3日以内に飲料、ゼリーなど流動食を配送
5	パルスオキシメーター配送	■ 1月4日より配送に加え、機器の保管・管理も委託 (最大400件/日配送可能)
6	酸素療養ステーション	■ 1月11日より開設(16床)、開設期間も延長 ■ 累計入所者数50名(4月3日時点)
7	区内大学との協定	■ 日本体育大学及び国士舘大学と患者へのトリアージ対応への協力に関する協定締結(1月7日) ■ 活動実績 (4月3日時点) 日中延べ131人活動、夜間延べ 68人活動
8	療養サポートシート	■ 陽性時の患者への連絡及び調査の効率化を目的に、事前に必要な情報を電子申請で入力(12月24日～) ※ 12月下旬両医師会会員医療機関へ配布済
9	社会的インフラを継続的に維持するための検査(社会的検査)との連携強化	■ 1月14日以降、各施設所管課が施設における患者を把握した時点で、保健所の疫学検査の結果を待たずに、速やかに施設における社会的検査(随時検査)を実施している(臨時的運用)。

区は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、保健所・保健福祉政策部をはじめとした関係所管部の職員及び民間の多様な人材の活力を活用し、次のようなフローで対応を行っています。



(4) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者への対策強化

①年齢・症状別自宅療養者への支援（連絡、健康観察、物資） 令和4年4月1日時点

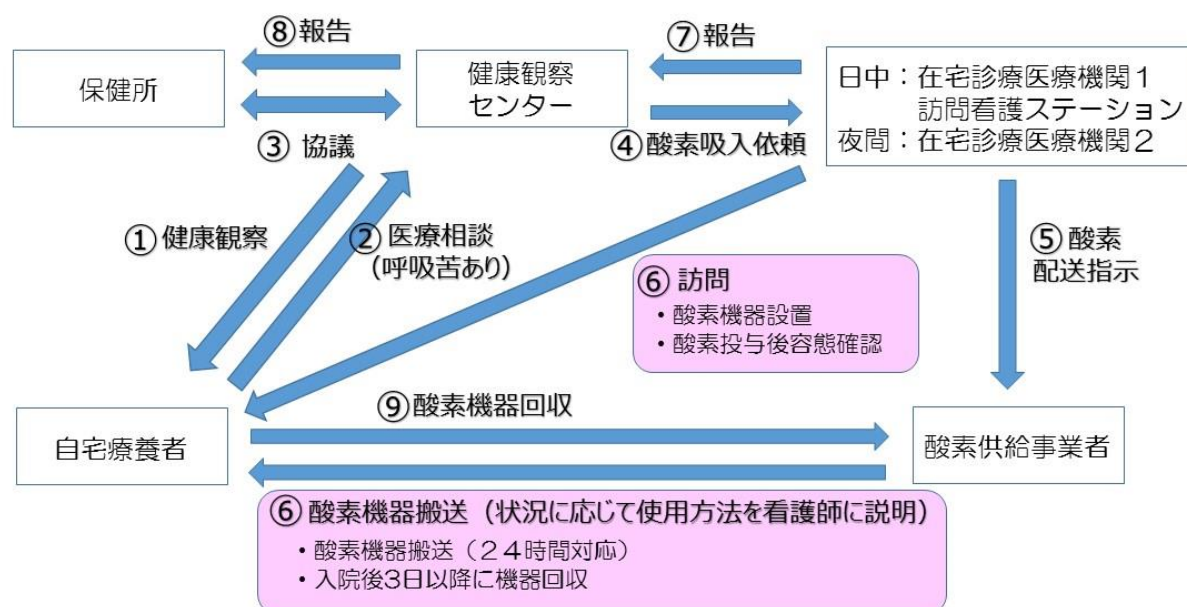
分類	対象	おおよその割合	初回SMS	初回架電	My-HER-SYS通知	健康観察	パルスオキシメーター	配食（都）	配食（区）
入院	入院を要する方	-	○	○	○	医療機関	×	×	×
ホテル	ハイリスク同居者がいる方 (隔離不可)	3.5%	○	×	×	ホテル	×	×	×
	自主的にホテル希望する方								
医療機関 管理	診断医がフォローアップ する方	7.5%	○	×	×	診断医	○(希望者はうちさ ぼへTEL)	○(希望者はうち さぼへTEL)	○
保健所 (区)	入院待機者又はHCフォローが 必要な有症状者	3.5%	○	○	○	外部人材	○(入院待機者は 都から配送)	×	×
						区FUC	○(希望者のみセ ルートから配送)	○(希望者はうち さぼへTEL)	○
フォローアップ センター (都FUC)	50歳以上又は基礎疾患 (服薬等でコントロール可)等あり	25%	○	×	×	都FUC (SMSにて LINE登録)	○(希望者はうちさ ぼへTEL)	○(希望者はうち さぼへTEL)	○
うちさぼ 東京 (都)	上記以外の方	60.5%	○	×	×	患者本人	○(希望者はうちさ ぼへTEL)	○(希望者はうち さぼへTEL)	×
自宅療養									

②在宅での酸素投与の体制整備

令和3年4月下旬より、区、健康観察センターの受託事業者、在宅酸素供給事業者の3者が連携し、入院調整中で酸素吸入が必要な感染者へのフォローアップ体制を強化しました。主に自宅療養中に呼吸苦等の発現により症状が悪化し、入院調整が必要と判断された感染者を対象として、自宅に速やかに酸素濃縮器を運搬するとともに、医療職による在宅での酸素投与等の診療体制を整備しました。（図）

区では、これまでに入院を待つ105人の方に使用していただいています。

在宅での酸素投与の体制



（図）在宅での酸素投与の体制

③都の自宅療養者への医療支援策の活用

東京都でも、令和3年5月より自宅療養者が急増した場合に備え、都内全域において、自宅療養者の体調が悪化した場合、東京都・東京都医師会と地区医師会が連携し、地域の医師等による電話（オンライン含む）や訪問による診療が受けられる体制を構築しています。区においても、世田谷区医師会、玉川医師会との連携により、東京都の自宅療養者支援の仕組みを積極的に活用し、自宅療養者の健康観察や往診対応等の自宅療養者の支援に引き続き取り組んでいきます。

④酸素療養ステーションの開設・運用

区は、自宅にて入院治療を待つ新型コロナウイルス感染症患者等に対し、酸素投与を含めた必要な支援を医療職の管理にて行うため、令和4年1月11日より区内の社会福祉施設に場所を移し、再開設いたしました。

<世田谷区酸素療養ステーションの概要>

1 施設の位置づけ

感染症法に基づく新型コロナウイルス感染症患者の宿泊療養施設

2 設置場所

区内社会福祉施設を活用（非公開）

3 定員

16名（世田谷区民対象）

4 開設期間

令和4年1月11日～9月30日

5 運用実績

（1）入所者数

男	女	合計
26	24	50

（2）年代別入所者数（累計）

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代
0	4	7	7	5	7
60代	70代	80歳以上			
10	9	1			

（3）酸素投与件数（累計）

酸素投与
3

（3）点滴投与件数（累計）

点滴投与
8

（5）退所後の行先（累計）※2名入所中

病院	ホテル	自宅
12	6	30

(5) 新型コロナウイルス感染症対応医療機関等支援事業

新型コロナウイルス感染拡大に対応する医療機関の受入れ体制を強化するとともに、地域医療体制の確保を図るため区内の医療機関を支援する補助事業を実施し、区内 84 の医療機関を支援しています。令和 4 年 4 月 3 日現在の実績は下記のとおりです。

① 新型コロナウイルス感染症専用病床確保支援

区内の新型コロナウイルス感染症患者入院受入医療機関に対し、新型コロナ病床を区民が使用した場合に、1日につき1床あたり8,000円を補助しています。(自衛隊中央病院【防衛省】、都立松沢病院【東京都】を除く。)なお令和4年1月より、中等症Ⅱの患者に対応した場合、1日につき1床あたり16,000円、重症の患者に対応した場合、1日につき1床あたり24,000円を補助しています。

<区内確保病床数の推移>

※自衛隊中央病院、都立松沢病院除く

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
150	150	150	151	163	173	173	167	167	179	191	191

<確保病床の区民使用数(延べ)>

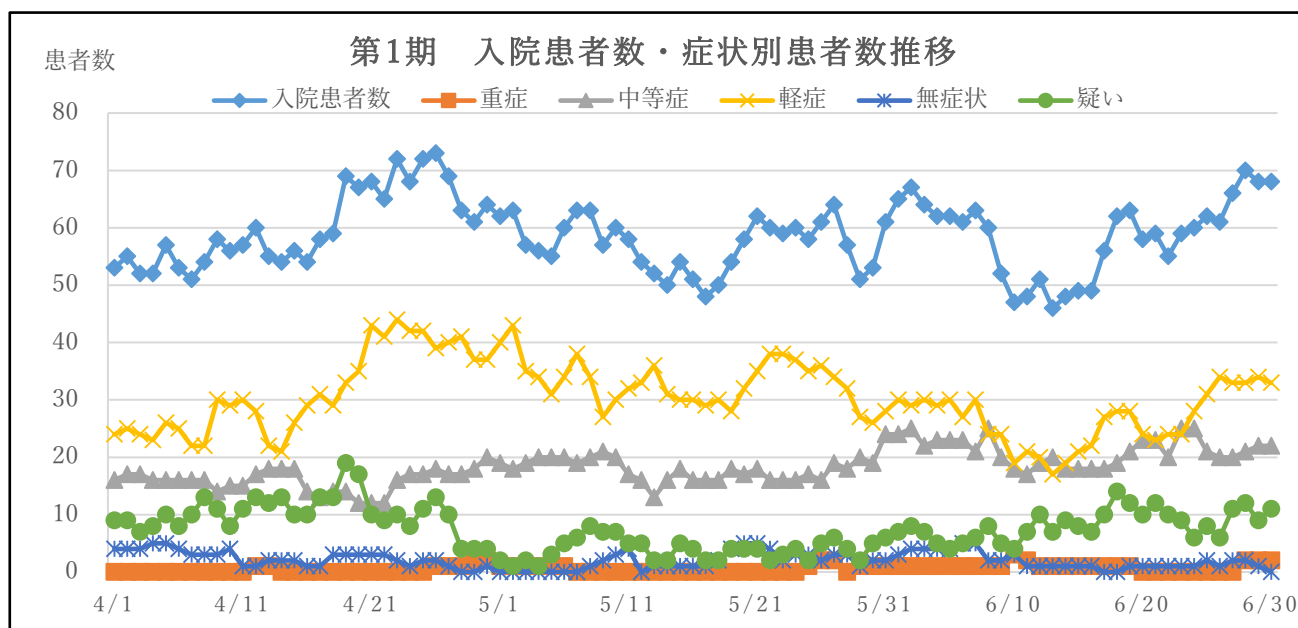
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1439	1437	1456	1919	2342	2068	326	128	275	1535	2215	1970

<確保病床のうち区民使用率>

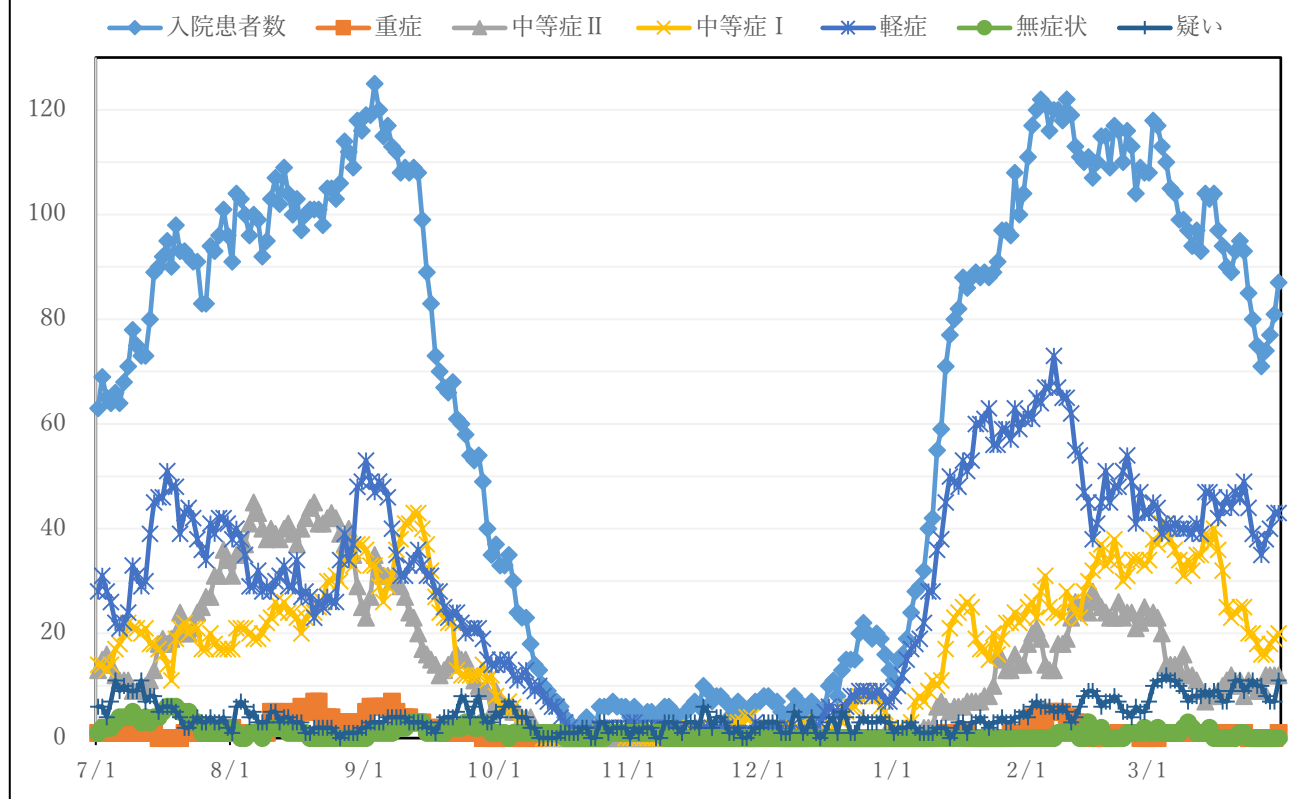
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
80.1%	81.1%	82.5%	74.8%	73.3%	80.5%	84.2%	74.0%	82.1%	73.9%	69.2%	66.9%

<入院患者数の推移>

※自衛隊中央病院、都立松沢病院除く



第2期～第4期 入院患者数・症状別患者数推移



② 発熱外来等の運営支援

区民が身近な医療機関において新型コロナウイルスに係る検査が実施できるよう、PCR検査について行政検体の受入れ、または保険診療による検査を実施する医療機関に対し補助を行っています。帰国者・接触者外来を運営した場合、1か月あたり20万円。発熱外来を運営する診療所等及び、発熱・咳等の疑似症状を有する患者に対して訪問にて診療を行う医療機関については、1か月あたり10万円。区内80の医療機関が支援を受けています。そのうち、発熱外来等が73、訪問診療が4、帰国者・接触者外来が3となっています。

<補助事業実施医療機関によるPCR検査数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3895	4281	3513	5237	9027	4757	2762	2419	2924	12789	10212	8663

※帰国者・接触者外来除く

<補助事業実施医療機関による抗原検査数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2205	2399	2193	3052	4039	2566	1798	1523	1767	6988	7529	6735

③ 休業・縮小施設の再開支援

医療機関の従業員または入院患者が新型コロナウイルス感染症に罹患、またはその疑いが発生したことにより、外来診療の一部または全部の休診、病床使用停止になった場合に、補助を実施しています。休診した1ラインごとに、1日につき41,700円、病床の使用停止は1日、1床あたり8,000円を補助しています。

<休診補助医療機関数等>

	第1期 (4～6月)	第2期 (7～9月)	第3期 (10～12月)	第4期 (1月～3月)
休診した医療機関	2 (47日)	1 (11日)	0	5 (57日)
補助した停止病床数	延べ870床	0	0	延べ765床

④ 新型コロナウイルス感染症回復後患者の転院受入支援

新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たしたが、リハビリや他の疾患の療養の必要、介護者の罹患などの理由により自宅や入所施設、グループホーム等に戻ることのできない入院患者の転院等を受け入れる区内の医療機関や高齢者施設等を支援し、区内の新型コロナウイルス感染症入院受入病床の確保を図っています。

ア. 区内の入院受入医療機関より回復後患者を受入れた場合、1日につき8,000円

イ. アの医療機関に転院を実施した医療機関は患者1名につき12,000円

他の病院より回復後患者の転院を受け入れる8病院、自院にて転床を実施する9病院を支援しています。

なお令和4年1月より、区外の入院受入医療機関より区民である回復後患者を受入れた場合についても、アと同様の補助を実施しています。

<区内病院より転院を受け入れた患者数>

	第1期 (4～6月)	第2期 (7～9月)	第3期 (10～12月)	第4期 (1月～3月)
転院受入患者数	3名	3名	0名	4名
転院後の入院日数(延べ)	175日	88日	0日	74日

<自院にて回復後患者の転床を実施した患者数>

	第1期 (4～6月)	第2期 (7～9月)	第3期 (10～12月)	第4期 (1月～3月)
転床実施患者数	22名	39名	5名	105名
転床後の入院日数(延べ)	513日	617日	140日	1,887日

(6) 新型コロナワクチン住民接種の実施状況

1 主旨

国は、令和4年3月25日に、新型コロナワクチンの4回目接種の実施に備え、概ね5月下旬を目途に、接種券や会場の手配等、準備を進めることを自治体あてに通知した。

4回目接種を実施するかどうかは、引き続き国の分科会で審議されることとなるが、上記の国の通知に基づき、現在進めている3回目接種の実績も踏まえながら、4回目接種の実施に備えた対応方針を定め、実施が決定された際に円滑にスタートできるよう準備を進める。

2 3回目接種の実績

(1) 接種状況（令和4年4月18日までの実績）

①年代別及びワクチン別の接種状況

年齢区分	対象者人口	3回目接種済み人数	接種率	ワクチン別の内訳			
				ファイザー	比率	モデルナ	比率
75歳以上	99,180	76,803	77.4%	54,074	70.4%	22,729	29.6%
65－74歳	87,219	65,195	74.7%	33,576	51.5%	31,619	48.5%
60－64歳	48,751	32,796	67.3%	12,030	36.7%	20,766	63.3%
50－59歳	139,811	78,031	55.8%	25,273	32.4%	52,758	67.6%
40－49歳	153,920	65,098	42.3%	19,537	30.0%	45,561	70.0%
30－39歳	129,465	44,122	34.1%	11,551	26.2%	32,571	73.8%
20－29歳	115,677	33,442	28.9%	9,011	26.9%	24,431	73.1%
12－19歳	56,719	4,679	8.2%	1,551	33.1%	3,128	66.9%
(1)合計	830,742	400,166	48.2%	166,603	—	233,563	—
(2)個別接種 (VRS未登録分)	—	52,728	—	52,728	—	0	—
(1)と(2)の合計	—	452,894	54.5%	219,331	48.4%	233,563	51.6%

②接種機関別の接種状況

接種回数合計	内訳				
	集団接種	個別接種	職域接種	大規模接種（国・都）	区外接種ほか
452,894	220,218	120,999	60,438	20,362	30,877
100%	49%	27%	13%	4%	7%

③ウィークエンド夜間接種

以下の5会場で、3月18日～4月30日の毎金・土曜日に実施している。

会場名	設定枠数	接種数
文化生活情報センター	720	512
北沢タウンホール	660	364
玉川区民会館集会室	600	284
砧総合支所	960	357
烏山区民センター	660	423
計	3,600	1,940

④予約なし接種

以下の5会場で、3月25日から実施している。

会場名	実施期間	実施日数	接種数
区立大蔵第二運動場	3.25～4.17	16日間	70
宮坂区民センター	4.1～4.17	11日間	54
弦巻区民センター	4.1～4.17	11日間	33
代田区民センター	4.1～4.17	11日間	25
粕谷区民センター	4.1～4.17	11日間	33
計			215

⑤目黒区、狛江市、楽天グループ株式会社による世田谷区民を対象とした接種

実施主体	実施期間	設定枠数	接種数
目黒区（3会場）	2.24～3.31	12,771	3,017
狛江市（2会場）	3.19, 20, 21, 26, 27	3,300	1,957
楽天グループ株式会社	3.7～（継続中）	41,555	11,116

※上記のほか一部の区内企業や大学でも、世田谷区民を対象とした接種を実施している。

⑥高齢者施設等での接種

ア 高齢者施設及び障害者施設での接種

■高齢者施設での3回目接種実績 合計 12,954 回

月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	108	1,592	3,523	1,889	7,112
従事者	121	1,411	2,968	1,342	5,842

■障害者施設での3回目接種実績 合計 1,039 回

月	1月	2月	3月	合計
利用者	18	164	666	848
従事者	10	34	147	191

- ・集団接種会場等まで来所できない高齢者施設及び障害者施設の利用者・従事者に対する3回目接種のため、医師、看護師等で編成した接種チームによる巡回接種、または施設嘱託医等による施設内接種を行い、3月中に接種を完了した。
- ・高齢者施設は対象224施設※のうち施設内接種を希望する201施設、障害者施設は希望のあった52施設で接種を行った。

※高齢者入所施設での接種の対象施設（224施設）

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホーム、養護老人ホーム、都市型経費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅

イ 障害者施設職員同行による集団接種会場での接種

保健医療福祉総合プラザ（うめとぴあ内）で2月24日（木）、3月17日（木）、24日（木）に実施し、希望のあった3施設、利用者22人の接種を行った。

■3回目接種実績

月	2月	3月	合計
利用者	13	9	22

ウ 障害者専用会場

4月7日、21日、28日、5月12日の木曜日の午後、保健医療福祉総合プラザ（うめとぴあ内）において、障害者の方に配慮・支援を行う専用会場を設けて接種を実施する。

4月7日の実施状況は以下の通りである。

■接種実績（1、2回目接種者も含む）

実施日	4月7日	合計
接種者	36	36

エ 接種会場への移動支援

移動困難な高齢者等が自宅から集団接種会場などへの移動に対し、福祉タクシー券などを給付し、移動支援を行った。

■取組み実績

- ・対象者 福祉タクシー券などの交付または自動車燃料費助成の対象の方
福祉タクシー券 : 約9,600人
予約料・迎車料補助券及びストレッチャー料免除券 : 約2,500人
- ・給付枚数 福祉タクシー券 : 1,000円券×2枚
予約料・迎車料補助券 : 2枚
ストレッチャー料免除券 : 2枚

(2) 各業務の実施状況

① 3回目用接種券の発送実績

発送回	到着開始日	対象者 (2回目接種時期)	送付件数	(内訳 (概数))	
				高齢者数	高齢者以外
第1回	11月24日	令和2年3月1日～4月30日	6,600	400	6,200
第2回	12月21日	5月1日～5月31日	15,400	4,300	11,100
第3回	1月17日	6月1日～6月16日	24,400	20,100	4,300
第4回	1月24日	6月17日～6月23日	23,400	21,000	2,400
第5回	1月28日	6月24日～7月5日	40,000	35,900	4,100
第6回	2月3日	7月6日～7月18日	37,100	26,300	10,800
第7回	2月7日	7月19日～7月26日	40,300	14,200	26,100
第8回	2月9日	7月27日～7月31日 ※高齢者は～9月30日	78,100	45,300	32,800
第9回	2月18日	8月1日～8月7日	51,900	0	51,900
第10回	2月21日	8月8日～8月31日	118,600	0	118,600
第11回	3月1日	9月1日～9月30日	158,400	0	158,400
第12回	3月18日	10月1日～10月31日	49,200	2,100	47,100
第13回	4月19日	11月1日～11月30日	10,900	600	10,300
合計			654,300	170,200	484,100

※一斉発送の件数。このほか、転入者等に対しては、申請に基づき個別に発送。

- ・これまでに約65万件の接種券を発送した（申請に基づく個別発送分を除く）。国による接種間隔の度重なる前倒しに対応し、随時、接種券の発送スケジュールを早めた。
- ・高齢者に対しては予約の集中を避けるため、1月中旬から2月上旬にかけて小刻みに分散発送するとともに、第8回発送分で優先して発送を行った。

② コールセンター運営（R3.12月～R4.3月の実績）

月	R3.12月	R4.1月		2月		3月	
		4～15日	16～30日	1～15日	16～28日	1～15日	16～31日
受電数	10,077	7,391	53,415	103,013	33,550	27,879	15,537
応答数	8,658	6,441	32,315	45,254	27,458	22,509	13,315
回線数	100	150					

- ・3回目接種では、特に高齢者からの予約受付に備え、回線数を最大150回線に増設した（1・2回目接種時は最大83回線）。
- ・1月後半から2月前半にかけて、高齢者への接種券送付直後や混み合う時間帯など、一時的に受電数が応答数を大幅に上回る状況が見られたが、一過性で常態化することなく、予約における目立った混乱は生じなかった。

【参考：１・２回目接種時の実績】

月	R3. 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
受電数	303	946	558,649	852,884	125,102	166,550	387,354	47,597	13,467
応答数	272	935	29,682	60,907	54,458	61,741	69,015	29,674	11,288
回線数	20		70		83			42	

③まちづくりセンターでの予約支援（集計期間 R3. 12. 22～R4. 3. 31）

予約支援件数（28 か所の合計）	約 7,900 件
------------------	-----------

- ・ご自身での予約が困難な方を対象に、28 か所の各まちづくりセンターで区職員による予約支援を実施した。
- ・１・２回目接種時の実績が約 15,000 件であったのに対し、今回の実績は半数程度となった。要因としては、コールセンターの受電状況が改善したこと等が考えられる。

④エッセンシャルワーカーや感染時のリスクが高い区民への優先接種

対象者		区民	区内在勤者 (区外在住)
高齢者・障害者施設等従事者（居宅サービス事業者等従事者含む）※巡回接種対象の入所系施設の従事者は除く		区の集団接種会場（コールセンターで専用枠を予約。 R4. 2. 14～）または楽天グループ株式会社で実施（R4. 3. 7～）	楽天グループ株式会社で実施（R4. 3. 7～）
保育関連施設職員			
教職員等（幼稚園、小学校、中学校）			
児童関連施設職員（新ＢＯＰ・児童館職員等）			
市区町村のごみ収集業務従事者			
感染時のリスクが高い区民	妊婦（及び同居する配偶者等１名）	楽天グループ株式会社で実施（R4. 3. 7～）	
	基礎疾患を有する方（該当する基礎疾患は、１・２回目接種時の優先接種対象と同じ）		

※上記のほか、東京都の大規模接種会場でもエッセンシャルワーカー等への接種を実施

(3) 4回目接種に向けた主な課題

①突発的な接種対象者数増加への対応

3回目接種では、国による接種間隔の度重なる前倒しにより、特に令和4年2月～3月の接種対象者数が当初計画していた人数から約20万人増加したことで、当初計画を大幅に上回る接種体制の確保や、接種券の発送時期の前倒し等を行うこととなった。

これを踏まえ、4回目接種では、当初の計画段階から突発的な接種対象者数の増加も想定し、一定程度余裕を持った接種体制の確保や接種券の送付時期を検討する。

②高齢者の予約受付

3回目接種では、接種券の分散発送、コールセンターの回線数の増設、まちづくりセンターでの予約支援を組み合わせることにより、高齢者の予約受付を目立った混乱なく進めることができたことから、4回目接種にあたっても、引き続き同様の取組みを実施する。

③個別接種におけるVRS登録方法の改善

区では、区内医療機関の事務負担軽減の観点から、個別接種実績のVRS登録は、月1回の接種費用請求時に区がまとめて行う方法を取っている。このため、東京都がVRS登録数を元に公表している都内区市町村の接種率の一覧では、区の接種率は実際よりも低い数値となっている。

4回目接種では、できる限り個別接種の実績を即時に把握できるよう、世田谷区医師会及び玉川医師会との協議のもと、VRS登録方法の改善を図る。

3 4回目接種の実施に備えた対応方針

(1) 現時点における4回目接種の概要（令和4年3月25日付国通知※の抜粋）

- ・4回目接種の実施やその対象者、3回目接種からの接種間隔等については、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で引き続き審議する。
- ・各自治体は4回目接種の実施に備え、3回目接種を受けた全ての者が対象となることも想定して、現時点（3月25日時点）から2か月程度を目途に、接種券や会場の手配等、準備を進めること。
- ・4回目接種で使用するワクチンとしては、追加免疫としての使用が承認されているファイザー社ワクチン及び武田／モデルナ社ワクチンを想定している。
- ・4回目接種に係る接種体制確保に必要な費用については、引き続き、国が全額を負担する方針のもと、必要な予算については今後措置する予定。

※令和4年3月25日付国通知「新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）の体制確保について」

(2) 対応方針

3回目接種の実績及び現時点で示されている4回目接種の概要を踏まえ、以下のとおり、4回目接種の実施に備えた対応方針を定める。なお、この対応方針は、今後の国からの情報により変更する場合がある。また、国が4回目接種の詳細を決定次第、当該方針に基づき、4回目接種の接種計画を決定する。

①接種券の発送

4回目用接種券は、3回目接種完了日から4か月を迎える前に到着するように発送する(ただし、初回の発送分を除く)。

また、高齢者への接種券発送にあたっては、予約の集中を避けるため、3回目接種の実績も踏まえて1回あたりの発送件数を分散する。

②予約受付体制

高齢者は4回目接種においても、高い接種率となることが見込まれることから、円滑に予約いただけるよう、引き続き、コールセンターの回線数は3回目接種時と同様に最大150回線を確保するとともに、まちづくりセンターの予約支援も実施する。

また、4回目接種に対応した予約システムの調整等を行う。

③集団接種体制

a 体制及び会場の確保について

国による接種対象者の拡大や、感染拡大による発熱外来等の増加で区内医療機関が個別接種を十分に実施できないリスク、また、4回目接種における職域接種の実施が不透明であるなど、集団接種の需要が突発的に高まる可能性があることから、4回目接種においては、集団接種の比率を高めて計画を策定するなど、接種対象者数の想定ピーク時と同等程度の4万回／週の接種能力を備え、集団接種の体制を強化することとし、円滑な実施に向けて、現時点から必要な会場や医療従事者等の確保を進める。また、接種対象者の年齢層やニーズに合わせた取組みを必要に応じて実施する。

会場の確保期間は、現在進めている3回目接種及び小児接種に当面使用しつつ、4回目接種の期間が4か月を想定し、12会場を10月まで確保する。さらに、4回目接種の後倒しや5回目接種の可能性も想定し、11月以降に関しても、区民利用の予約開放を延期する。

【確保する会場】

世田谷文化生活情報センター、弦巻区民センター、宮坂区民センター 保健医療福祉総合プラザ、北沢タウンホール、代田区民センター 旧二子玉川仮設庁舎（A棟）、旧二子玉川仮設庁舎（B棟）、玉川区民会館集会室、 砧総合支所、烏山区民センター、粕谷区民センター

b 風水害時の対応について

台風の接近などにより、区が高齢者等避難や避難指示を発令した場合や、気象状況などにより、集団接種会場に来場する区民等の安全が確保できないと区が判断した場合は、集団接種会場での接種を原則中止とする。

この場合、被接種者本人が再度予約システム等で接種予約を取ることを基本としつつ、振替日が確保できなかった方のために、あらかじめ区の集団接種会場で振替用の専用枠を一部確保しておく。

④個別接種体制

一般の高齢者の4回目接種を開始する当初から、集団接種と同時期に個別接種が実施できるよう、世田谷区医師会及び玉川医師会と調整し、個別接種の体制を整える。

また、個別接種の実績をできる限り即時に把握可能とするため、現在、月1回の接種費用の請求時にまとめて処理をしているVRSへの登録方法を、両医師会との協議のもと改善を図る。

⑤高齢者施設接種

3回目接種と同様に、施設内で4回目接種を希望する高齢者施設が、国が示す3回目接種からの接種間隔を空けて、速やかに接種を実施できるよう体制を確保する。

⑥障害者施設等接種

ア 障害者施設における巡回接種

3回目接種と同様に、施設内で4回目接種を希望する施設が、国が示す3回目接種からの接種間隔を空けて、速やかに接種を実施できるよう体制を確保する。

イ 施設職員同行による集団接種会場での接種

施設の意向を改めて確認し、巡回接種や障害者専用会場を活用した接種を含め、柔軟に対応していく。

ウ 障害者専用会場

4回目の接種については、1～3回目の状況を踏まえて、予約、配慮や支援の方法、従事職員の体制を検討する。

エ 接種会場への移動支援

3回目接種と同様、4回目の接種会場への移動に福祉タクシー券等の利用ができるよう、福祉タクシー券などを追加で送付する。

⑦区民周知

4回目接種は、実施の有無やその詳細がいまだ国で審議中であり、初期に発送する接種券の同封物に制度概要（3回目からの接種間隔や接種対象者等）の印刷が間に合わないことから、区のおしらせやホームページ、SNS、コールセンター、その他の紙媒体等による周知や案内で補完するなど、必要な情報を区民に届けるための情報発信を行う。

4 その他

（１）小児接種（１・２回目接種）の実績（令和４年４月１８日までの実績）

①接種状況

実施主体	１回目接種数	２回目接種数	合計接種数
集団接種	3,407	3,130	6,537
個別接種	1,382	359	1,741
計	4,789	3,489	8,278

※５～１１歳の対象者数約 52,000 人

②障害児（５～１１歳、１・２回目）専用会場

集団接種会場の一部の時間を区切り、障害児が落ち着いてワクチン接種を受けられるよう新たに障害児専用枠を設けた。３月、４月に玉川区民会館に設け、５月に保健医療福祉総合プラザ（うめとびあ内）に設ける。

■接種実績

会場	１回目接種日	接種数	２回目接種日	接種数
玉川区民会館(集会室)	３月 19 日（土）午後	28	４月 9 日（土）午後	23

（２）ノババックス社ワクチンについて

- ・厚生労働省は４月 19 日、アメリカのノババックス社が開発し、武田薬品工業が国内での生産や流通を手掛けるワクチン（以下、「ノババックス」という。）を薬事承認した。
- ・国内では４種類目の新型コロナワクチンとなり、国は令和３年から１億 5,000 万回分の供給を受ける予定となっている。
- ・自治体には５月下旬から配送が開始される予定であり、国は、各都道府県に対して、少なくとも１か所の接種会場を設置することを求めている。

【参考 新型コロナワクチンの比較】

		ファイザー	武田／モデルナ	ノババックス
種類		mRNAワクチン	mRNAワクチン	組換えタンパクワクチン
接種	初回	21 日間隔で 2 回 (12 歳以上)	28 日間隔で 2 回 (12 歳以上)	21 日間隔で 2 回 (18 歳以上)
	追加	1 回 (12 歳以上)	1 回 (18 歳以上)	1 回 (18 歳以上)
希釈		1.8mL で希釈	希釈不要	希釈不要
1 バイアル		6 回分	10 回分	10 回分
保管温度		－75℃前後：9 か月 －20℃前後：14 日 2～8℃：1 か月	－20℃前後：9 か月 2～8℃：30 日	2～8℃：9 か月

(3) 集団接種会場における小児用ワクチンの廃棄について
別紙のとおり

5 今後のスケジュール (予定)

5月 1日 区のおしらせ5月1日号 (大型連休中の接種の実施について等)

5月15日 区のおしらせ5月15日号 (4回目接種の概要等)